

資料 1

令和5年度社会教育関係事業について

1. 各機関の実施状況について

- ・ポストコロナの本年は、各機関で対面、オンラインなど実施方法の工夫により多様な事業が展開された。その周知にあたっては、SNSの活用も図られ、公民館においては、対象地区以外から参加者もみられる。
- ・公共施設予約システムが本格稼働したが、高齢者層のデジタル機器の操作習熟度など、運用面で課題が残っている。
- ・デジタル活用による、主催事業の実施にあたってはより細やかな配慮等も求められており、機器や技術面での課題もある。このような中で職員のデジタル活用についての研修機会や、職場全体のデジタル環境の整備が課題となっている。

（1）生涯学習文化課及び公民館

（別紙①「令和5年度 主な主催事業の実施状況」参照）

（2）中央図書館

①令和5年度事業の概要

多種多様な資料に接する機会の提供

定例行事の再開や、公民館、学校、子育て関係課等と連携した各種事業を実施したほか、乳幼児などの子育て世代にも気兼ねなく安心して図書館をご利用できる時間帯である「ちゃいりんどたいむ」を設けた。

市全域における図書館サービスの提供

中央図書館、移動図書館、分室、電子書籍サービスにより図書館サービスを実施した。また、移動図書館の巡回ステーションの見直しや、分室資料の入れ替え等を行った。

ICTを活用したサービスの推進

電子書籍サービスやオンラインデータベースの提供のほか、来館が必要だった未所蔵リクエストの申し込み、会議室の利用申請等について、インターネットを利用した受付を開始した。

利用者満足度の向上

図書館の利用状況や満足度を調査し、図書館サービスの向上に活用するため、図書館利用者向けアンケートを実施した。

②主な成果と課題

多種多様な資料に接する機会の提供

定例行事（おはなし会、わらべうた）の再開や、「ちゃいるどたいむ」を実施した。

今後は、子ども行事を継続的に実施するため、読み聞かせボランティアの新規募集や継続的なスキルアップの向上が課題となっている。

市全域における図書館サービスの提供

市内の図書館で、新規登録者数1,271名、利用者数109,295名、貸出冊数444,759冊の利用があった。また、電子書籍サービスは、登録の新規申し込み684名、ログイン延べ6,589回、コンテンツ貸出2,568点、閲覧7,774回、電子雑誌766回の利用があった。（令和6年2月末現在）

移動図書館は、南子安小・外箕輪小、内箕輪どろんこ保育園への巡回を開始した。また、2月には、巡回ステーションに対し利用希望調査を実施し、その結果をもとに4月から新しいスケジュールで巡回を行う。

分室は、清和地域拠点施設内の図書コーナーの整備を行った。今後も、新鮮な資料を提供するため、継続的に資料の入替を行う。

I C T を活用したサービスの推進

これまで来館が必要だった申請について、デジタル化を進めた。未所蔵リクエストの受付について、7月から、Logo(ロゴ)フォーム（自治体専用デジタル化総合プラットフォーム）からの受付、10月からはちば施設予約システムを利用した会議室の利用申請等を開始した。今後も、デジタルによる申請について推進する。

利用者満足度の向上

（P4「(2) 君津市立図書館利用者アンケート」項目及び別紙②「君津市立図書館アンケート調査結果」参照）

③今後の展望

社会情勢の変化や市民ニーズを的確に把握した図書館資料を収集し、市民が必要とする情報を提供する。

また、乳幼児などの子育て世代にも気兼ねなく安心して図書館をご利用いただけるよう、「ちゃいるどたいむ」の充実を図り、幼少期から本に触れ、親しむきっかけをつくるとともに、誰もが利用しやすい図書館を目指す。

(3) 久留里城址資料館

①令和5年度事業の概要

展示事業としては、およそ20年ぶりとなる常設展「郷土を掘る」コーナーの大幅リニューアルを行い、秋の企画展では、君津市初となる人間国宝に認定された松原伸生氏の長板中形の技術と作品の魅力を紹介した。

講演会や各種講座、市内小学生の受け入れ、出前授業など教育普及事業は、コロナ禍前の水準で展開できたが、施設面において、5月の地震や6月の大雨による被災で、天守閣や登城道の一部を長期封鎖することになり、復旧整備に追われる年にもなった（※被災登城道は3月に復旧し、通行止めは解除）。

来訪者の動きに制限を与える館活動となつたが、8月上旬には昭和54年の開館以来、累計入館者数が100万人を越え、年度末にはこれを記念して、市長などを招いて天守閣前で桜の植樹を行う。

資料保存や調査研究にも引き続き取り組んだが、改正博物館法元年として、デジタルアーカイブとその活用、多様な主体との連携など、これから新しい博物館像を考える1年であった。

②主な成果と課題

企画展には市域をはじめ各地から来場者が訪れた。開催直前に、テーマとする型染技術の「長板中形」が重要無形文化財に、製作者の松原伸生氏がその保持者（人間国宝）に決まり、広く紹介することができた。

常設展「郷土を掘る」コーナーのリニューアルでは、展示に最新の研究・発掘調査の成果を反映するとともに、関連イベントも実施し、多くの方に君津市の原始・古代の歴史に触れる機会を提供することができた。

③今後の展望

令和5年5月に発生した地震により天守閣鰐瓦などが損壊、落下する被災があった。今後の二次被害の恐れを考慮し、現在天守閣は内部への立ち入りを禁止している。外観だけを望める形になっているが、早期に復旧整備し、来訪者への便宜を図りたい。

博物館法の改正に伴い、デジタル化が博物館の役割に加わったことから、収蔵資料の情報の整理を進め、デジタル化への基盤を整えていきたい。

来年度の企画展では、戦国時代、久留里城を本拠とした里見義堯をテーマとした展示を行う。久留里城という立地を生かし、多くの方に君津市の魅力を発信できるような展示および関連イベントを実施する予定である。

(4) スポーツ推進課

（別紙①「令和5年度 主な主催事業の実施状況」参照）

2. 各機関令和5年度満足度調査（令和6年2月末時点）

- 君津市総合計画「生涯学習」において、令和8年度までの達成指標「公民館利用者向けアンケートでの公民館事業における満足度90.0%」、「図書館利用者向けアンケートでの利用満足度70.0%」を掲げていることから各機関でアンケートを実施している。

（1）公民館事業における満足度

- 主催事業参加者を対象とし、学級など連続するプログラム及び関連性のある講座の場合は、最終プログラム終了後に、講演会などは1プログラムごとにアンケートを取っている。
- アンケートの回答を、「満足・そう思う（5点）、やや満足・ややそう思う（4点）、どちらでもない（3点）、やや不満・あまりそう思わない（2点）、不満・全くそう思わない（1点）」として集計し、評価総合平均点、割合を算出する。

回答数1,534名 総合満足度90.44%

公民館名	コミュニティ活性化	n	青少年教育	n	課題解決学習推進	n	分館事業	n
君津中央	92.80%	43	95.0%	149	89.60%	45	93.0%	4
八重原	未集計		92.40%	30	94.60%	3	－	
周西	91.60%	131	87.40%	122	85.20%	82	－	
周南	91.40%	41	92.60%	6	84.60%	14	－	
小糸	未集計		未集計		93.60%	103	－	
清和	92.0%	23	82.20%	24	91.20%	29	－	
小櫃	71.60%	96	90.40%	62	93.80%	185	－	
上総	94.40%	22	93.40%	95	90.80%	86	90.80%	139
計	88.97%	356	90.49%	488	90.43%	547	91.90%	143

（2）君津市立図書館利用者アンケート

（別紙②「君津市立図書館アンケート調査結果」参照）

実施期間 10月10日（火）～22日（日）

回答数 1,713名 総合満足度66.8%

結果をもとに、さらに利用しやすい図書館を目指し、多様なニーズに応えられるよう図書館サービスの拡充に努める。

（3）久留里城址資料館

（別紙③「久留里城址資料館企画展 アンケート結果」参照）

別紙①

令和5年度 主な主催事業の実施状況

生涯学習文化課

分類	事業名称	回数・延人数等	主な内容・題材等
社会教育委員会議	社会教育委員会議	4回 委員9名	・地域活性に役立ち、より開かれた社会教育を目指して ・公民館等再整備基本計画の進捗状況について ほか
成人を祝う集い	20歳のつどい	1回 532人	・公民館、文化ホール等を会場に11地区で開催。 ・各地区で実行委員会を組織し、手作りの会を企画、運営した。
子どもの読書活動推進	君津市子ども読書活動推進委員会	3回 委員13名	・「第四次君津市子ども読書活動推進計画」の推進について ・事業の進捗の把握、評価 ほか
	ブックスタート事業	19回 434人	・ブックスタートパックの配布 ・パパママクラスの読み聞かせ(6回) ・子ども読書月間の推進
まちづくりふれあい講座	まちづくりふれあい講座	33回 883人	防災講座(危機管理課) ごみの分け方・出し方・処理について(クリーン推進課)ほか
地域コミュニティ推進	君津市青少年健全育成団体合同研修会	1回 40人	・活動発表「周西の丘小学校」 ・各地区的活動報告(書面報告) ・犯罪発生状況、少年犯罪等について(君津警察署)
	子ども110番の家推進		令和5年度協力者数:1, 234軒
放課後子ども教室	「やえっ子ひろば」	9回 56人(登録者数)	友遊ボール、季節遊び、昔遊びほか
下町集会所	下町集会所運営委員会	委員9名	・運営委員会(2回) ・集会所周草刈り(2回 40人協力)
人権教育推進	人権ミニフェスタ2024	1回	・市内2箇所(生涯学習交流センター、上総地域交流センター)で人権啓発展示 ・上総小学校児童による人権標語の掲示、合同生徒会の取り組み、公民館の人権事業紹介ほか
	人権問題学習講座	1回 31名	市民、教職員を対象に講座を開催。「子どもの小さなサイン、どう受け止めていますか」をテーマに、学校、地域での子どもへの関わり方について理解を深めた。
コミュニティ・スクール推進事業	周西南中学校区学校運営協議会	4回 委員13人	・令和5年度学校運営の基本方針について ・学校評価について ・地域学校協働本部について ・令和6年度学校運営の基本方針について ほか
	周西南中学校区地域学校協働本部	12回 本部役員11名	・定例会議への参加 ・学校支援、地域交流、広報部会活動への助言
	上総小櫃中学校区コミュニティ・スクール推進委員会	4回 委員17名	・コミュニティ・スクールの仕組みについて ・学校と地域の状況の共有について ・学校運営協議会の体制について ほか
文化財審議会	文化財審議会会議	会議2回 現地視察1回 委員7名	・文化財の保護・活用等に関する調査及び審議 について ・久留里城址資料館企画展視察
文化財活用	歴史Kids隊	4回 80人	・土器づくり体験 ・7/31, 8/1実施。市内小学生対象。
	「長板中形」講演会・プレ展示	講演会150人 プレ展示394人	・講演会11/18、於中央図書館視聴覚室 ・プレ展示11/18・19、於中央図書館ギャラリー
	出土遺物公開展 「ちっちゃい土器のエトセト ラーなにこれ？どこから？ どうやって？ー」	見学者 講座参加者	・中央図書館及び久留里城址資料館にて開催 ・市内の遺跡から出土した「ちっちゃい土器」をテーマにした展示と、会期中に関連講座を2回実施。
文化振興	松本ピアノ市役所ロビーコンサート		・3/21の正午から12時50分、市役所ロビーにて、松本ピアノを活用したコンサートを開催予定。

令和5年度 主な主催事業の実施状況

君津中央公民館

分類	事業名称	回数・延人数等	主な内容・題材等
公民館運営審議会	君津地区公民館運営審議会	会議(4回) 委員12人	・公民館運営審議会4回
コミュニティ活性化事業	サークル・団体研修会	9回 126名	・予約システムの操作方法について
	サークル・団体活動・社会教育関連の地域諸団体への支援・協	随時	・サークル・団体・利用者みんなの会への活動支援 ・青少年相談員活動支援・おもちゃ・病院支援 ・子育てサポートー「さぼっと」支援
	公民館だより「ひこばゆ」	3回	・372号:自治会活動紹介ほか ・373号:新春ひろがれ!ご近助の縁 ・374号:輝く季節特集
	第59回君津中央公民館文化祭	11/2~11/5 延べ2500人	・舞台発表、作品展示、体験企画、特別企画(100の縁を見つけよう～みんなでつくるご近助縁日)など ・座談会(3回)、準備会(4回)、役員会(4回)、実行委員会(4回)
青少年教育事業	子どもパラダイス	4回(夏・冬) 125人	歴史、スクエアダンス、なぎなた、卓球、篠笛など サークル・団体の協力のもと実施
	公民館こどもクラブ	4回(夏・冬) 110人	・君津高校説明会 ・事前指導 ・勉強会、レクリエーション
	令和6年周西南中学校区20歳のつどい	8回 実行委員5名 参加者 87人	・実行委員会(6回、リハーサル、当日) ・実行委員企画として恩師ビデオメッセージ、クイズを実施した。
課題解決学習推進事業	保育協力者研修	1回 5人	・保育方法等の調整会議
	子育てふれあいひろば「くしんば」	6回(7月~12月) 149人	・情報交換、ヨガ、もったいない交換会、ミニ運動会ほか
	家庭教育支援講座「とまり木おしゃべり会」	3回(1月~2月) 25人	不登校の子の保護者同士の交流の場として実施。
	家庭教育支援講演会	1回(2/24) 20人	子どもと一緒に考えるデジタル事件簿 対面・オンライン(Zoom)
	入園入学準備助け合いひろば	3回(3月) 人	・入学・入園に必要な準備物の制作等の支援
	人権問題学習講座「子どもの小さなサインどう受け止めていますか?」	1回(9/27) 31名	・子どもが直面している困難な状況(=生きづらさ)をテーマに、市民、教職員が共に学び合う機会として実施。 ・生涯学習文化課、学校人権教育委研究協議会と共催実施。(対面・オンライン(Zoom))
	ふれあいひろば-ほればれ-	4回(9月~12月) 115人	・生涯学習交流センターを拠点としたシニアの集いの場づくりとして実施した。 ・レクリエーション、ミニ講座、交流
	障がい者の生涯学習推進事業「だんだんダンス」	3回(2月~3月) 60人	・学校卒業後の障がい者の学び、交流する機会として実施。
	助けあい・支えあい広場 あいあいカフェ	8回(12月~3月) 140人	・当館対象地域内で働く障がい者、地域住民との相互理解を進める機会として就労継続支援施設の商品販売とボランティアのセルフドリンクコーナーによるミニカフェを実施。 ・ドリンク売り上げ寄付(能登半島地震義援金)
	ゆるやかな地域ネットワーク形成事業「君津中央公民館ポンコツ村」	4回(12月~1月) 37人	・地域の人のゆるやかな交流の機会づくりを進める。 ・調理実習、レクリエーション、創作活動 ・「ポンコツアート」展開催
分館事業	貞元を知って楽しむ講座	1回(2/3) 20人	・地域行事である「郡地区どんど焼き」をとおして、地域の魅力を再発見する。

令和5年度 主な主催事業の実施状況

生涯学習交流センター

分類	事業名称	回数・延人数等	主な内容・題材等
市民相互交流 促進・生涯学 習促進事業	子育て支援交流会「おしゃ べり広場」	1回 22人(保育13名)	・「知りたい！子どもも自分も楽になる褒め方・叱り方」 親子の信頼関係を大切にした子どもの褒め方、叱り方のコ ツを学んだ。
	地域住民交流イベント 「ミニ鉄道フェスティバル」	2回(9/17、18) 546人	さざなみ鉄道俱楽部、上総鉄道紀行の運営により、鉄道ジ オラマ、関連展示などを実施した。
	IT講習会	計34回 206人	・Word/Excel講座 (13回) ・スマートフォン講座(19回) ・LINE講座(2回)
	子どもの心を聴く傾聴講座	2回(1回中止) 18人(保育11人)	傾聴ってなあに？ 自分の気持ちも相手の気持ちも大事にする Iam OK, You are OK.
子ども相互交 流事業	こっこるーむ事業	40回 592人	・今日の絵本はなにかな？(12回) ・親子で一緒にハーモニカと(12回) ・ベビーマッサージ(10回) ・ぐるんばと遊ぼう ・季節イベント(5回)

令和5年度 主な主催事業の実施状況

八重原公民館

分類	事業名称	回数・延人数等	主な内容・題材等
公民館運営審議会	君津地区公民館運営審議会	会議3回、資料開催1回ほか	・公民館運営審議会4回
管理運営事業	公民館利用者懇談会	1回 70人	・公民館の利用や施設予約システムの説明 総合消防訓練
コミュニケーション活性化事業	館報「八重原」発行・編集委員会	4回 12人	第129号:地区役員紹介／第130号:保育園開園、祭り／第131号:文化祭開催、地域の居場所／第132号:成人を祝う集い、災害への備え
	第27回八重原地区ふれあい文化祭	R5.11.11/12日 11日約1,800人、12日約600人参加	・展示部門13、学校等展示12、催し物部門8、音楽芸能部門24のサークル・団体・学校等の参のほか、日々の活動の様子等紹介する動画を17本、館内で放映した
青少年教育事業	八重原こども体験教室	7回 123人	・ペットボトルロケットを飛ばそう ・実物大の生き物を描いてみよう ・ビーチコーミング ・工作 ・焚き火と炭焼き ・お菓子作り ・廢油石けん作り
	親子米づくり教室	7回 187人	・田植え ・草取り ・稻刈り ・正月飾りづくり
	成人を祝う集い(君津中学校区)	6回 183人	実行委員会(集いの企画、20歳のメッセージ等)
	20歳のつどい(八重原中学校区)	6回 98人	実行委員会(集いの企画、20歳のメッセージ等)
課題解決学習推進事業	八重原地区家庭教育事業	6回 21人	・多肉植物の寄せ植え ・モルック(親子活動) ・子どもの歯のおはなし ・野菜たっぷりのごはんを作ろう ・太巻き寿司を作ろう
	八重原・周南地区合同幼児家庭教育事業	5回 63人	・足形アート ・かんたん！おいしい！幼児期の食事 ・イヤイヤ期、どうする問題 ・子どもの成長に合わせた絵本の選び方 ・スマホで写真撮影のコツ
	やえはらパパひろば	5回 57人	・パパと一緒に遊ぼう！子どもとの豊かな遊び ・親子で探求！自然とふれあう公園散歩と工作 ・パパも育児で充実！家族の笑顔を増やす家事シェアのコツ ・パパの手料理
	家庭教育関連事業	1回 未定	・保育協力者合同研修
	八重原公民館スマートフォン講座	5回 75人	・スマートフォンを使ってみよう ・カメラを使おう ・インターネットを使おう ・マップを使いこなそう ・LINEを使いこなそう 他
	地域再発見講座	1回 4人	・地域のマップの基礎情報収集 ・大沢公園の樹木マップ作製
	あつたかふれあいサロン	12回 151人	・相続と争族のはなし／カーレット ・腸の健康に関する健康教室／みんなで歌おう ・備えて安心！在宅避難のススメ／音楽鑑賞 ・お口の健康を守りましょう／折り紙 ・オンライン工場見学／紙コップ相撲 ・エンディングノート／音楽鑑賞 ・シニア世代のための食生活 ・カーレット ・楽しく食事をしてフレイル予防 ・成年後見制度／ボッチャ ・血流改善／ハンドベル ・モルック
	防災講座	2回 52人	・備えて安心！在宅避難のススメ ・考え方災害時のトイレ ・避難所シミュレーション(都合により延期)

令和5年度 主な主催事業の実施状況

周西公民館

分類	事業名称	回数・延人数等	主な内容・題材等
コミュニケーション活性化事業	周西公民館だより「はまっぺ」編集発行事業	発行4回/年	編集委員とともに企画・取材・編集・校正を行い、年4回発行。地域の情報紙としての位置づけを目指し、地区の人物や場所、出来事を紹介。特に、4年振り実施の祭りなどを特集。
	令和5年度 第17回周西公民館地区文化祭	11/11(土)～11/12(日) 2日間で900人	実行委員会を組織し第17回周西公民館地区文化祭として開催。発表、展示、体験、販売の4分野プラス特別企画で構成。飲食スペースを設け、バザーも実施しコロナ前の賑わいが戻ってきた。
	サークル団体研修会	1回 54人	公民館の基本的性質と役割、公民館利用、文化祭について。特に施設予約システム運用に伴う予約方法の大幅な変更について説明し、個別の対応も行った。
	SAKURA★ウォーク2024	3/26(火) 実施予定	利用者の会、明治安田生命との三者連携事業。立地を生かし、桜の開花に合わせ小糸川右岸ジョギングコースのウォーキングを企画中。
青少年教育事業	子どもデイキャンプ	10/15(日) 大雨により中止	青少年相談員との共催事業。小学4～6年生対象。
	すさい子ども教室	11回 220人	放課後、長期休みに実施。子どもの遊びの幅を広げる工作、体験活動等。地域ボランティア2名、長期休みに君津高校生によるボランティア協力。
	おやこ教室	5回 87人	各回都度募集。父と子のクッキングや火おこしで父親の家事・育児参画意識の促進を目指したほか、ウクライナ出身の方を招き多文化理解を図る内容を実施。
	令和6年周西公民館 20歳のつどい	会議含め7回 90人	令和6年1月7日に周西公民館で開催。実行委員企画として、ビデオレター、地域クイズ、20歳のインタビューを実施。
	子どもバスハイク	①7/15(土) 18人 ②3/2(土) 22人	青少年相談員との共催 小学3～6年生対象 ①千葉市科学館(きぼーる) ②日本科学未来館・そなエリア東京
課題解決学習推進事業	周西幼児家庭教育学級(たんぽぽ学級)	10回 (閉級3/7) 177人 (1～9回延べ)	コロナ感染症が5類に移行したことにより、以前の条件(おやつ・腰がすわった子から)に戻して保育を実施。 新規参加人数は6名(以前に参加、継続参加人数13名)。レクレーションや子育て講座。
	家庭教育学級(すくすく学級)	9回 131人	学級生9名。新規学級生0人。公開講座を2回実施し、初めて公民館事業に参加する方、男性の参加もあった。悩みの共有、交流や子育て講座。今後は学級という形式にとらわれず事業を展開していくことも検討。
	高齢者学級(おとなの放課後倶楽部)	8回 273人	ターゲットはアクティブラジニア。全8回を対面で実施。学級生46名のうち皆勤賞13名。
	高齢者交流事業(お達者倶楽部ゆいまーる)	6回 78人	高齢者が参加して“ちょっと得した気分を味わえる”ようにプログラムを構築。スマホ講座「初級編」3回と「応用編」3回を実施。(DX推進課とdocomoの契約分)定員15名がほぼ満席となり好評を得た。
	みんなのともかつ～1人じゃやらないことをやる～	6回 (最終3/30) 50人 (1～5回延べ)	就労層が参加できるように開催曜日を土曜日午後に設定した。公民館事業に初めて参加した方が多かったが、継続的な参加者も数人いる。交流、自己実現。
	学び直し支援事業「日本語ひろば」	6回 (最終3/9) 15人	日本語を母語としない外国人住民と日本人ボランティアの学びと交流の場。茶道体験、浴衣体験、防災教室、やさしい日本語でのトーク交流。
	※家庭教育支援事業 家庭教育講演会 周西中学校区青少年健全育成協議会と共催	1回 47人	『親のイライラがなくなる！スマホ・ゲームのルール決め』スマホ・ゲームのルール決め、子どものやる気を引き出す方法をテーマとした講演会を実施。
※人権関連事業 「なぜ戦争がおこるの？」	2回 (2回目3/16) 16人 (1回目参加者数)	世界情勢が緊迫している今、戦争と平和について考える講座。第1回目を「教育」2回目を「国際政治」の視点から実施。講義、グループワーク。	

令和5年度 主な主催事業の実施状況

分類	事業名称	回数・延人数等	周南公民館 主な内容・題材等
公民館運営審議会	君津地区公民館運営審議会	会議(4回) 委員12人	・公民館運営審議会4回
コミュニティ活性化事業	館報「ひろば」編集発行事業 ふるさと運動事業	5回発行 編集委員 4名 5回 委員14名 1回 11人 2種目・22チーム 4団体発表 1回 20人 1回 33人	・編集会議の実施、各号の発行 ・地域活動委員会議 ・地域リーダー向けモルック体験会 ・第2回周南ふれあいスポーツ大会(雨天中止) ・郷土芸能継承活動(第50回文化祭にて発表) ・お飾りづくり ・ふるさと周南ウォッチング(常代編)
	第50回周南地区文化祭	10/28~29 ・延1,900人来場	・実行委員会、部門別会議、全体作業等開催 ・特別展示「周南公民館50年の歩み～過去・今・そして未来～」 ・作品展示、体験、模擬店
	公民館利用者研修会	18団体 18人参加 14団体 13人参加	・研修会(昼の部・夜の部) ・説明会(昼の部・夜の部・土日の部)
	周南公民館開館50周年記念事業	・21回 ・回収数 320件 ・3月末発行 ・応募数13作品 8名 ・1泊2日 21人 ・1回 23人 ・1回 約50人	・実行委員会実施(2部会制) ・記念事業「周南と周南公民館のこれからを考えるアンケート」 ・開館50周年記念誌「鹿野の麓」編集・発行 ・記念事業「公民館シンボルマーク募集」 ・記念事業「周南冒険山」 ・記念事業「すなみトゥーン」 ・記念事業「記念セレモニー&周南子どもサミット」
青少年教育事業	周南冒険山(※再掲)		・開館50周年事業として実施 ・青少年相談員、協力
	青少年バスハイク	1回 18人	・日本科学未来館、本所防災センター ・周南地区青少年相談員と共に
	公民館でクッキング	1回 6人	・小学生親子による減塩調理実習
	すなみトゥーン(※再掲)		・開館50周年記念事業として実施
	周南地区20歳のつどい	4回 83人	・実行委員会 ・恩師インタビュー、タイムカプセル発掘動画上映 他
課題解決学習推進事業	農業講座	5回 延43人	・裏山遊歩道草刈 ・学習会「農業に役立つ気象情報の見方」
	やえなみ子育てのひろば	5回 延54人	・八重原公民館と合同で実施 ・裏山散策 ・子どもに合わせた絵本の選び方 ・スマホで写真撮影のコツ 他
	家庭教育関連事業	1回 未定 1回 申込数16人	・保育協力者合同研修 ・子育て世代必見！いのちを守る防災講座(※再掲)
	周南寿学級	10回 延185人	・相続・贈与について ・頻尿予防 ・モルック体験と健康体操 ・地域学習(現地) 他
	認知症カフェ「すなみほつとサロン」	12回 延266人(2月末時点)	・認知症予防 ・老化対策 ・レクリエーション 等 ・ブログやHPで情報発信
	スマホ講座	2回、3人(2月末時点)	・DX推進課と共に
	スマホ活用講座	全4回 延43人	・参加者による話し合い、習熟度別実習、インターネットバンキング利用等
課題解決学習支推進事業	地域福祉関連事業	12回	・「君津東地区かまちよろ」会議 ・「あったかふれあいサロン」の実施 等
	地域連携・学校支援事業	3回 41人 1回 5人	・周南小中一貫教育校「周南史跡めぐり」協力 ・周南地区行事予定連絡調整会議
	災害・防災関連事業	1回 申込数22人 1回 申込数16人	・誰一人取り残さないための防災減災学習会(兼人権学習会) ・子育て世代必見！子どものいのちを守る防災講座
その他	青少年健全育成活動	31回 延581人	周南地区青少年を健全に育てる会への参加、協力 ・各種会議 ・夏季防犯パトロール(6回) ・交流事業(いやさか君津おどり参加) ・「あいわらぶ周南フォトコンテスト」の開催 ・あいさつデイの実施(各学期×5日間)

令和5年度 主な主催事業の実施状況

小糸公民館

分類	事業名称	回数・延人数等	主な内容・題材等
公民館運営審議会	公民館運営審議会	会議4回 ほか 委員8名	「地域づくり協議会について」「令和7年20歳のつどいについて」ほか
コミュニティ活性化事業	公民館利用者団体・懇談会	4回 180人	・利用者団体・サークルによる懇談会:1回 ・館内外の清掃作業:2回 ・利用者研修会:1回(木更津市金田地域交流センター)
	公民館だより発行事業	12回 60人	・年4回発行
	公民館文化祭	8回 3270人来館	・実行委員会、準備会を組織 ・特別企画展示「没後100年、小糸出身の肖像画家 柳敬助の生涯」 ・小中学生の作品と合唱発表 ほか展示、模擬店など
課題解決学習推進事業	いきいき学級	3回 71人	・携帯電話の使い方 ・いつまでも元気でいるための学び ・介護にならないために、今できること
	教育講演会	1回 110人	・「困った子は困っている子」～長所を伸ばすと子どもは変わる～
	小糸家庭教育学級	12回 310人	・子育てママのための再就職 ・ヨガで心も体もリフレッシュ ・きれい、好印象メイクセミナー
青少年教育事業	小糸親子教室	8回 276人	・君津ふるさとかかるた体験 ・モルック体験 ・子ども体験遊びリンピック ・ダンボール迷路 ・移動学習(科学技術館)
	チャレンジスクール	5回 139人	・ペットボトルロケット ・ふるさとかかるた ・木工体験 ・調理実習
	子どもキャンプ	4回 122人	清和県民の森 *青少年相談員と共に
	20歳を祝うつどい	6回 145人	・実行委員会 全4回 ・会場は4年ぶりに小糸公民館講堂を使用
プレイルーム文化祭子ども実行委員会	プレイルーム文化祭子ども実行委員会	18回 505人	小学校6年生を実行委員に、広場サポーターと共に文化祭で実施する企画の検討、実施を行った。
	夏休み子どもゲーム大会	2回 94人	君津高校生や中学生にボランティアをお願いし、プレイルームで活用しているカードゲーム等を活用したゲーム大会を行った。
	プレイルーム運営委員会(ひなたぼっこ隊)活動支援	20回 210人	・ひなたぼっこ会議(毎月1～2回) ・季節に応じた室内装飾制作 ・各種事業の企画運営
	小糸地区青少年健全育成協議会	9回 518人	・青少年健全育成標語の募集・選考・表彰 ・小糸地区小学生相撲集会 ・教育講演会「夢の実現に向けて」 ・健全育成だより発行 等

令和5年度 主な主催事業の実施状況

清和公民館

分類	事業名称	回数・延人数等	主な内容・題材等
公民館運営審議会	公民館運営審議会	会議4回 委員8名	・令和5年度公民館事業及び予算について ・地域づくり協議会の動きをふまえた今後の公民館の役割について ・文化祭、20歳のつどいについて ほか
コミュニティ活性事業	清和地域拠点複合施設開館記念 第51回清和地区文化祭	1/14～19 延べ550人来場	清和地域拠点複合施設開館記念式典と同日開催 《文化祭内容》 ・保育園、小中学生の作品展示 ・模擬店物販、軽トラック市 ・特別企画(引越しそば振る舞い、紅白餅・お菓子まき)
	公民館だより「館報せいわ」 発行事業	年4回発行 (1,100部 発行)	・役員紹介(387号) ・移住者との座談会特集(388号) ・清和地域拠点複合施設開館記念特集(389号) ・清和地区「20歳のつどい」(390号)
	利用者交流会 利用者説明会・意見交換会	2回 延べ76人	《利用者交流会》 学校跡地を活用した施設見学及び横浜散策。 《利用者説明会・意見交換会》 施設移転後の利用に向けた説明会、利用者との意見交換会を実施。
青少年教育事業	清和地区 子どもキャンプ ※青少年相談員と共に実施	1回(1泊2日) 22人	鴨川青少年自然の家を会場に、海岸散策やナイトハイク、海水浴等の自然体験活動を実施。
	子ども教室 「遊びの王国」	4回 延べ137人	・調理活動と工作(第1回) ・高齢者学級と共に工作(第2回) ・パン作り教室と集団遊び(第3回) ・千葉大学教育学部生と交流(第4回)
	新春ちびっこ大会 ※青少年相談員と共に実施	1回 51人	新春運試し大会(bingoゲーム)、モルック大会
	20歳のつどい	6回延べ26人 新成人16人	・実行委員会議(6回) ・軽トラック市、第51回清和地区文化祭の物販部門に参加 ・「20歳のつどい」企画・運営
課題解決学習推進事業	子育て支援事業 「子育て講演会」	1回 28人	・地域若者サポートステーションの事業や利用方法、就労支援内容についての紹介。 ・講師自身の復職経験を交えながら、復職後の働き方や育児をしながらのママとしての働き方について受講。
	子育て支援事業 「親子教室」	6回 延べ60人	・調理(パン作り、太巻き寿司)体験 ・移動教室(アンデルセン公園ほか) ・スポーツレクリエーション活動
課題解決学習推進事業	高齢者学級	7回 延べ201人	・健康講座(体操、口腔ケア、食生活をテーマにした講座) ・移動教室(横須賀方面) ・小学生との交流 ・防災講演
	おうち時間を楽しむ講座	5回 延べ85人	手軽にできるパン作り(防災パン、枝豆コーンパン、さくらあんぱん等)
団体支援	清和青少年健全育成連絡協議会	各種行事等 参加 延べ547人	・総会 ・標語コンクール、清和フォトコンテストの実施 ・教育講演会(小糸地区と合同実施) ・多世代交流グランドゴルフ大会(清和小学校、高齢者学級生の参加)
	体験せいわ学	8回 延べ190人	・炭窯でピザ作り体験 ・そばの収穫、そば打ち体験 ・納豆、味噌、干し柿作り体験 ほか
	清和の魅力探訪ウォーク1 1	1回 39人	秋元城跡をテーマに事前講義を行った後、現地への散策を実施。 【清和地区体育協会と共に実施】

令和5年度 主な主催事業の実施状況

小櫃公民館

分類	事業名称	回数・延人数等	主な内容・題材等
公民館運営審議会	小櫃・上総地区公民館運営審議会	会議4回 委員8名	R5・6の審議テーマを「地域活性の拠点としての公民館運営・事業のあり方について」とした。
青少年教育事業	こども会等担当者会議	1回24人	子どもたちに安全・安心な地域活動を提供する体制について協議
	こどもひろば	12回164人	「図書館へGO！」や書初め教室を企画、実施 冬休み:クリスマス飾りづくり、凧揚げ
	何でも挑戦！おびつつ子チャレンジ	1回14人	親子参加を可とし、くん製づくりに挑戦
	青少年相談員連携事業	3回48人	新春ふれあいフェスタとして「小櫃廻戦」を開催
	子どもキャンプ	11回150人	内浦山県民の森へ宿泊を伴うキャンプを実施
	こどもひろば	12回164人	「図書館へGO！」や書初め教室を企画、実施 冬休み:クリスマス飾りづくり、凧揚げ
コミュニティ活性化事業	令和6年小櫃地区20歳のつどい	7回94人	・実行委員会の開催 ・つどい及び式典の部
	利用者懇談会	2回48人	「研修会」から「懇談会」と改称。半期ごとの長期利用申請についての説明、公民館利用上の注意事項等の説明、公民館再整備について等
	館報「おびつだより」の編集・発行	年4回発行	・おびつだより228号～231号まで発行 ・編集委員会による取材、紙面構成、記事作成等を実施。
	第49回小櫃地区文化祭事業)	8回936人	コロナ禍前のスタイルで敷地内での飲食も可として開催
	小櫃里山コンサート	1回104人	地域住民が気軽に文化芸術活動に触れる機会をつくることを目的に実施
	小櫃ちいきミニシアター	7回181人	こども会や学童クラブ等への出張映画上映
課題解決学習推進事業	団体支援事業(小櫃公民館利用者連絡協議会・小櫃の元気なこどもを育てる	9回202人	・利用者連絡協議会役員会(総会、美化活動) ・小櫃の元気なこどもを育てる会(役員会・総会)
	学校支援・連携事業	6回216人	・小櫃小学校3学年総合学習支援「小櫃ホタルの里プロジェクト」 ・小櫃小学校1000か所ミニ集会
	おしゃべりウォーク	1回41人	第12回おしゃべりウォーク(洪水ハザードマップを見ながら小櫃を歩く)
	「小櫃まるごと博物館」構想事業	20回10人	運営会議と撮影等
	小櫃学	1回31人	「戦国時代の地を巡る里見再発見伝」として開催
	趣味教養講座①女性のためのヨガ教室②コーヒーを楽しむ会	5回16人	女性のためのヨガ教室を3回、コーヒーを楽しむ会を2回実施
	おびつスマイルサロン“いーね”	17回317人	サロン活動を通して、一人ひとりの生きかいつくり・孤立防止・介護予防など、「人が集まる場づくり」を進めることを目的に実施
	小櫃地区防災講座	3回88人	ワークショップでHUGゲームを体験
	子育てサロン「おびつな」	10回154人	少子化における孤立した子育てにおける育児不安の解消等に寄与
	デジタル活用講座	5回35人	スマホの操作に特化して開催
	高齢者学級「ほほえみ学級」	10回187人	公開講座2回含む10回実施

令和5年度 主な主催事業の実施状況

上総地域交流センター

分類	事業名称	回数・延人数等	主な内容・題材等
市民相互交流 促進・生涯学 習促進事業	まちなみ塾(事業)	14回 158人	定例会議を10回実施。事業は久留里の打ち水、ぐるり落語フェステバル、久留里まちなみコンサート、鄙の雛展を実施。
	花いっぱい運動の推進	4回(準備含む) 51人	青葉高等学校や地元の任意団体等と一緒に実施。 ・夏季/サルビア、マリーゴールド、ペチュニア 合計約600株を花壇に植栽 ・冬季/アリッサム、ハボタン、ダイヤンサス、ノースポール 合計約600株を花壇に植栽。

令和5年度 主な主催事業の実施状況

上総公民館

分類	事業名称	回数・延人数等	主な内容・題材等
公民館運営審 議会	小櫃・上総地区公民館運 営審議会	会議4回 委員8名	「地域活性の拠点としての公民館運営・事業のあり方について」を議題として主に審議した。
課題解決学習 推進事業	地域リーダー防災学習会	1回 17人	東京消防庁本所防災館へ行き、救命法や消火法の実習、地震体験等をした。 自治会連協、民生児童委員協議会、市民センターと共に。
	上総子ども人権教室 (上総子どもふれあい教室)	4回 77人	人権に関する正しい知識、実践力や子ども同士のふれあい活動を通して仲間意識や思いやりの心を育てるための講座等を実施。 内容:「手話で伝えよう」「移動学習 そなエリア東京と東京都水の科学館」「外国人の人にあそびを教えてもらおう!」「地域の人と昔あそびをしよう!」
	地域住民交流教室	3回 30人	「同和問題」「性別の多様性」「障がい者の就労支援」について講座を行い、地域の身近な人権課題などについて学びました。
	サークルリーダーICT講習 会	2回 10人	サークルや地域団体の役員が、ちば施設予約サービスの使い方や、サークル運営へのLINEのグループ機能の活用方法を学んだ。
	さわやか学級(高齢者学 級)	10回 169人	健康をテーマに様々な講座を実施。高齢者が健康でかつ地域でいきいきと暮らし続けられる地域づくりにつながるよう、学びの場と交流の場を設けた。
	家庭教育関連事業	1回 5人	健康で心豊かな子どもを育てる家庭環境を支援するため、最近話題のNISAやiDeCoの解説など「お金」についての講座を実施。
	わいわい広場	2回 33人	親子が気軽に集まる「粘土あそび」や「ピラティス」の講座を行い、講座を通して仲間づくりの場所を提供した。
コミュニティ活 性化事業	上総の“山”と“歩く”を楽し む教室	1回 24人	「亀山神社から加勢神社を巡る」をテーマに、亀山コミュニティセンターから11km越えの道のりを歩き、地域の山や歴史に親しむ機会をつくった。
	趣味教養講座「スマホ塾!!」	2回 22人	入門編「はじめてのスマートフォン・文字入力をマスターしよう」、応用編「LINEをはじめよう・LINEを使いこなそう」の講座を実施。
	趣味教養講座「四季の味を 楽しむ教室」	3回 31人	平成15年に君津市連合婦人会が発行した「ふるさと四季の味」を活用して、「こんにゃく作り」「豆腐作り」「よもぎのうるち団子」の調理実習講座を実施。
	館報「上総公民館だより」 発行	4回(文化祭特集号 含む)	地域の広報誌として発行。 内容:主催事業関係、地域団体紹介、サークル紹介等
	「久留里だより」発行	1回	地域の広報誌として、第17号を発行。 内容:令和6年久留里地区「20歳のつどい」、第17回「久留里まちなみコンサート」、「花いっぱい運動」、第16回「鄙の雛展」、「久留里ええもんいち」
	第51回上総地区文化祭	7回 1,594人	地域住民の学習・文化・スポーツ活動等の交流を深めると共に、文化振興と活力ある地域社会をめざし「第51回文化祭」を実施。 内容:芸能のつどい、作品展示、模擬店、特別展示「久留里水めぐりマップ原画展示」ほか

分類	事業名称	回数・延人数等	主な内容・題材等
青少年教育事業	青少年相談員共催事業	14回 243人(会議を含む)	青少年の健全育成を目的に、青少年相談員と共に各事業を実施。 ・キャンプ(1泊2日) ・バスハイク ・書道大会&お楽しみbingo大会 等
	夏休み自習室開放	1回 25人	青少年の学習を支援する目的で、7月24日～8月29日まで自習室として会議室を開放した。
	公民館Deチャレンジ	2回 15人	小学生を対象に実施。 ・「卓球に挑戦！」 ・「松ぼっくりアニマルを作ろう！」
	上総地区青少年健全育成	1回 109人	上総地区全体として青少年健全育成に資する社会啓発標語コンクールを実施。「明るい社会啓発標語」(受賞者8名～賞状を授与、地域各所へ標語を掲示)
	令和5年20歳のつどい	15回 79人	・各地区とも20歳のスピーチ、20歳を迎える方及び来賓・恩師によるメッセージ集を発行・配布。
分館事業	第18回松丘ふれあいまつり	7回 614人	内容:芸能発表、作品展示、模擬店、モルック大会、ドローン空撮など
	松丘分館だより発行	3回	地域の広報誌として発行。 内容:サークル活動案内、長寿と健康のヒケツ、旧松丘小学校の利活用について、講座等事業紹介、サークル紹介他
	松丘分館事業(その他)	7回 38人	主に地域の方を対象に実施。 ・松丘分館事業推進委員会 ・お飾りづくり講習会 ・チーンソー講習会 ・移動研修(東京都西洋美術館と浅草寺周辺を見学)
	松丘探検隊	8回 84人	地域住民と公民館職員等で現地の学習会を実施。 内容:「大森畜産(有)緑化部亀山農場・相川資料館」他(全8回)
	パッチワーク講座	3回 26人	趣味教養講座として実施。 内容:スマホショルダーの作成
	松丘健康講座	4回 103人	「生涯骨太クッキング！」「子どもと一緒に体を動かして元気をもらおう！」「知っているようで、本当は知らない?～糖尿病について～前後編」の全4回を実施。
	第20回亀山ふるさとまつり	8回 511人	内容:芸能発表、作品展示、竹かごづくり体験コーナー、模擬店、亀山音頭&お囃子、みんなで歌おう♪など
	広報かめやま発行	発行3回 編集会議3回 編集委員8名	地域の広報誌として発行。 内容:長老に聞く、ほっとかめやま、亀山で頑張っている人、地域の話題 他
	真空管アンプでレコードを聴こう♪	1回 36人	趣味教養講座として実施。 内容:真空管アンプの解説とレコード鑑賞
	亀山分館事業フレイル予防教室(高血圧編)	1回 10人	地域の疾病率が高い高血圧についての講座を実施。
	亀山分館事業(その他)	4回 30人	主に地域の方を対象に実施。 ・亀山分館事業推進委員会 ・移動研修(川崎大師とトイレットペーパー工場見学)

別紙②

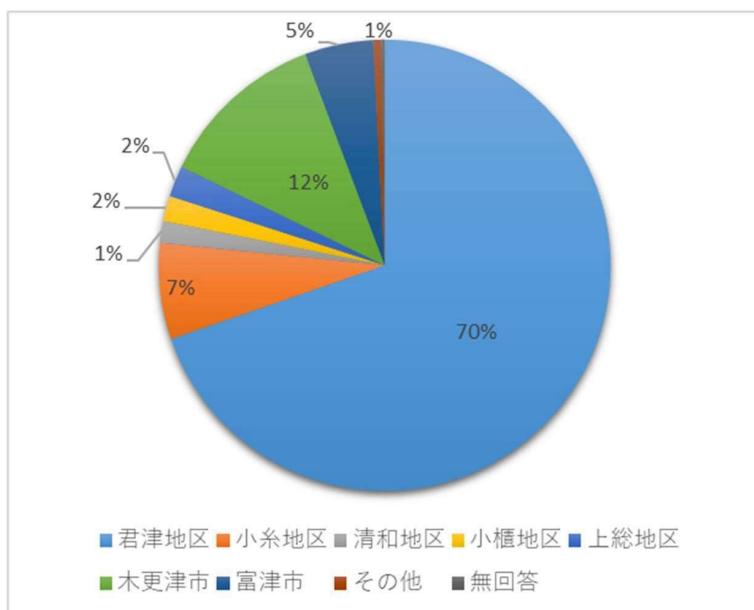
君津市立図書館アンケート調査結果

1 アンケート回答者の属性

(1) 居住地域

Q 1 お住まいはどこですか

地区等	回答者数
君津地区	1, 194
小糸地区	118
清和地区	27
小櫃地区	31
上総地区	38
木更津市	207
富津市	84
その他	10
無回答	4
計	1, 713



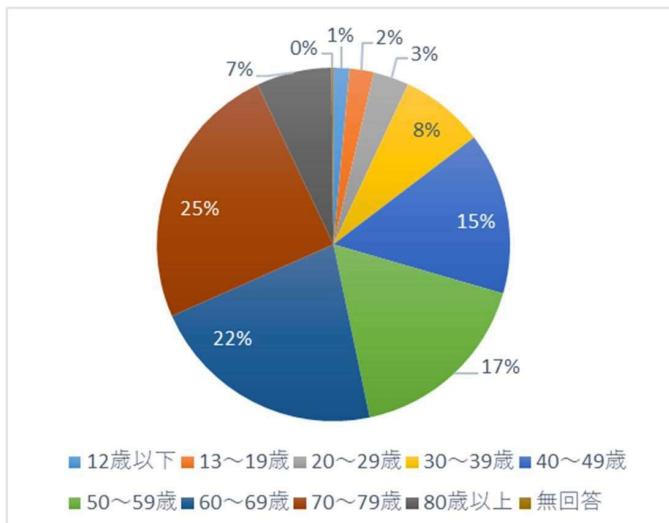
回答者のうち、市内在住者は 1,408 人 (82%)、うち君津地区の居住者は 1,194 人 (85%) であった。

また、木更津市、富津市、その他に居住と回答された方 301 人のうち、67 人 (22%) が君津市在勤、在学者であった。

(2) 年齢

Q 2 年齢は以下のどれにあたりますか

年齢	回答者数
12歳以下	25
13~19歳	38
20~29歳	56
30~39歳	132
40~49歳	254
50~59歳	295
60~69歳	371
70~79歳	421
80歳以上	118
無回答	3
計	1, 713

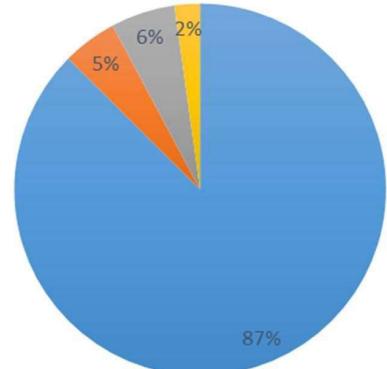


2 図書館利用状況の概要

(1) 利用頻度

Q あなたは図書館を利用したことがありますか

利用頻度	回答者数
1年以内に利用した	1, 498
2～5年以内に利用した	81
5年以上前に利用した	96
利用したことがない	38
無回答	0
計	1, 713



回答者のうち9割近くが、1年以内に利用したと回答した。来館による回答が多かったことも反映されている可能性がある。

■ 1年以内に利用した ■ 2～5年以内に利用した
■ 5年以上前に利用した ■ 利用したことがない

(2) 利用している図書館

Q どちらの図書館または分室を利用しましたか

1年以内に図書館を利用した方に、利用した図書館を尋ねたところ、95%が中央図書館と回答した。

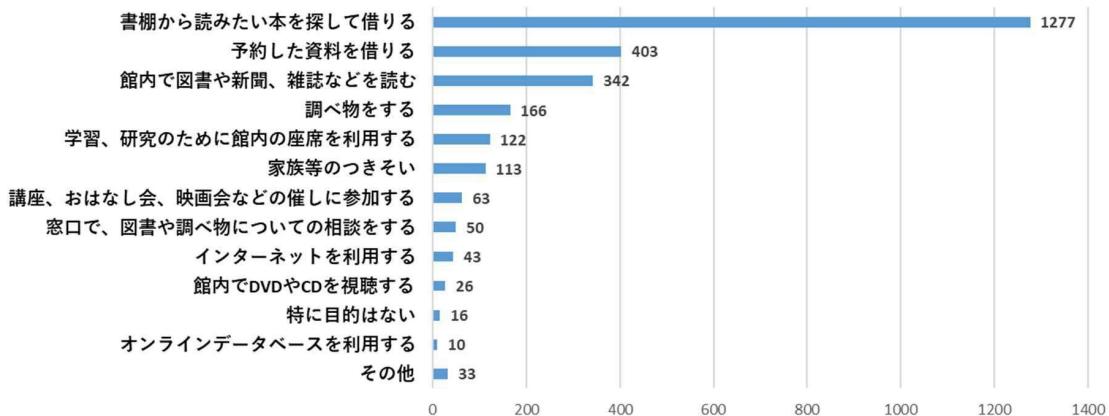
館名	回答者数
中央図書館	1, 430
市民体育館分室	25
周南公民館分室	2
小糸公民館分室	2
清和公民館分室	2
小櫃公民館分室	5
上総公民館分室	14
移動図書館ひまわり号	18
計	1, 498

(3) 図書館の利用目的

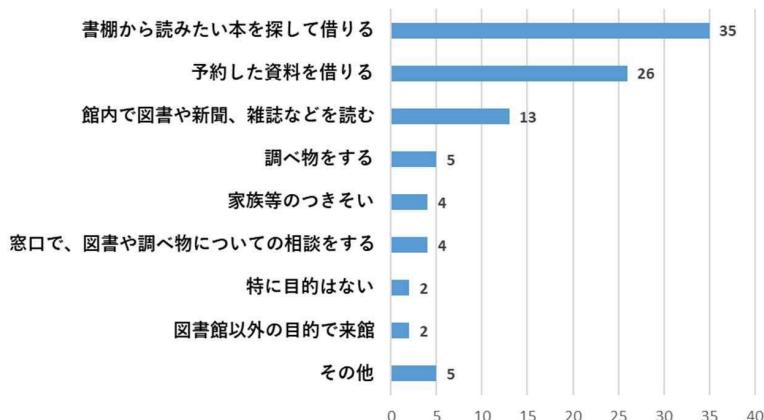
Q 3 あなたが図書館に来館した主な目的を教えてください (3つまで)

1年以内に図書館を利用した方に、利用目的を尋ねた。

ア 中央図書館来館者の利用目的 (回答対象者: 1,430 人)



イ 分室来館者の利用目的 (回答対象者: 50 人)



どの館においても、「書棚から読みたい本を探して借りる」の需要が高い。

また、中央図書館と分室の来館者の利用目的を比較すると、分室来館者の方が「予約した資料を借りる」と回答している割合が多い。

なお、中央図書館来館者の利用目的として、「その他」には、会議室や自習室の利用、展示施設の展示物の観覧、利用券作成等があった。

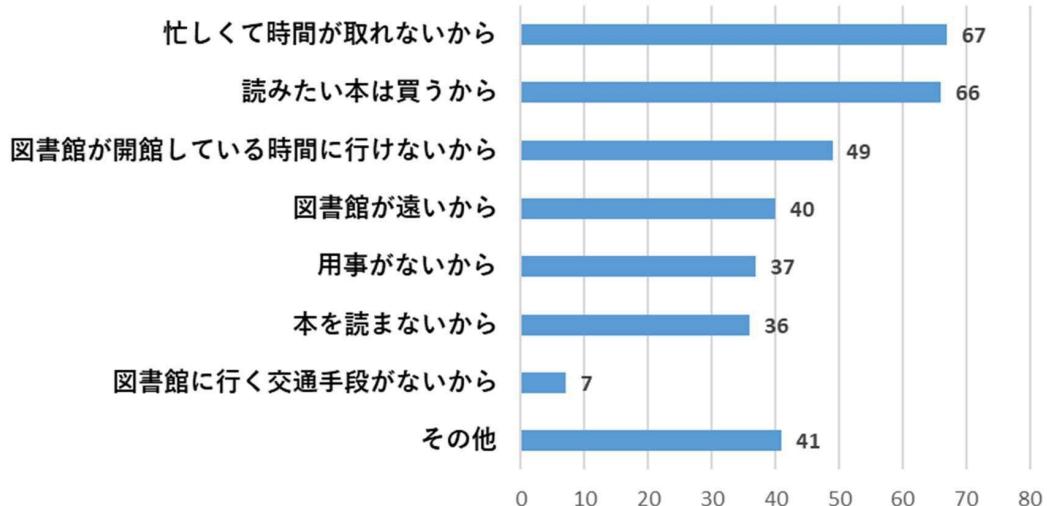
ウ 移動図書館来館者の利用目的 (回答対象者: 18 人)



[Webのみの質問]

Q あなたが現在、図書館を利用していない理由はなんですか

(特にあてはまるもの3つまで)



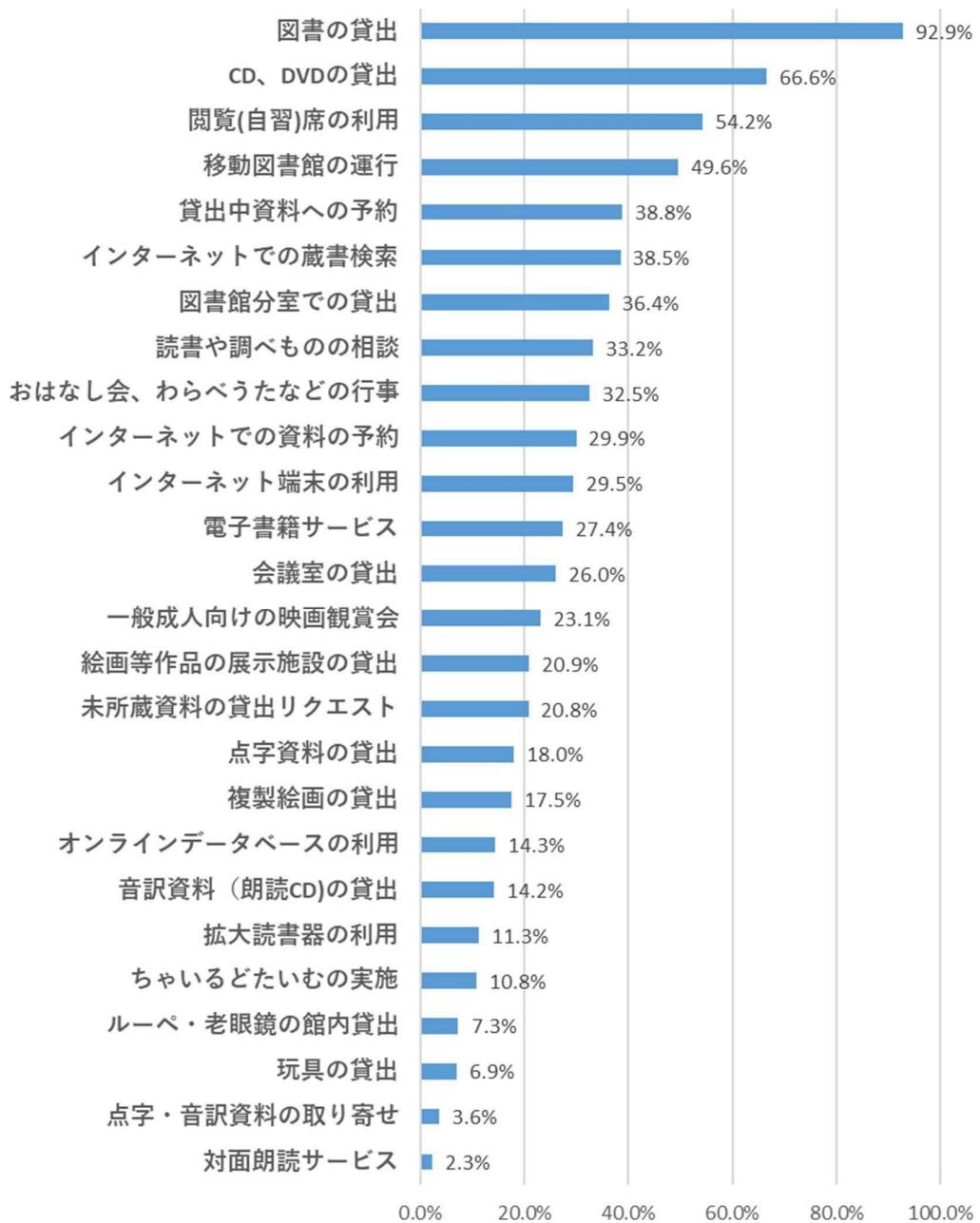
1年以内には図書館を利用していないかった方 215 人に、現在図書館を利用していない理由を尋ねた。

回答者のうち、“読みたい本は買うから”、“用事がないから”、“本を読まないから”といった図書館利用に興味を持たないものが 139 人 (64.7%) “忙しくて時間が取れないから”、“図書館が開館している時間に行けないから”といった時間に関するものが 116 人 (54%)、“図書館が遠いから”、“図書館に行く交通手段がないから”といった、アクセス困難によるものが 47 人 (21.9%) となった。

また、図書館を利用しない“その他”的理由には、読みたい本がない 9 人、新型コロナウィルス感染症流行後は控えるようになった等のコロナ禍の影響 9 人のほか、貸出期間が短い 2 人などがあった。

(4) 知っている図書館のサービス

Q 4 以下の図書館サービスの中で知っているものを教えてください (いくつでも)



図書館利用者へのアンケート調査にもかかわらず、「図書の貸出」(92.9%)、「CD、DVDの貸出」(66.6%)、「閲覧（自習）席の利用」(54.2%) 以外は50%に満たない。「貸出中資料への予約」(38.8%) についても4割を満たないことや、Q 3 の利用目的を尋ねる質問からも、図書館利用の大半が館内にある本を借りること、座席の利用を目的としていることがわかる。

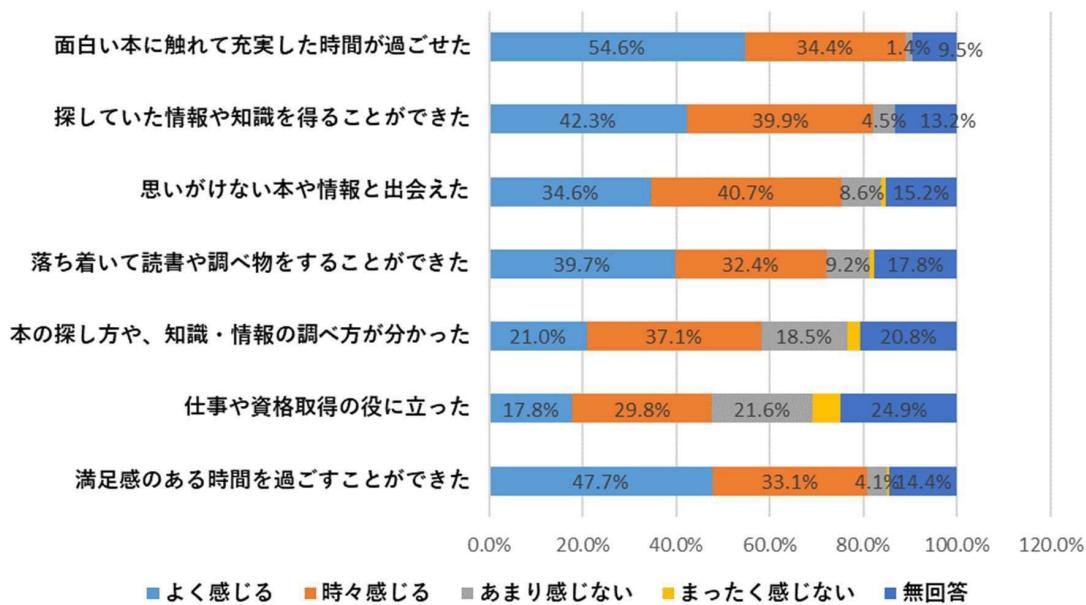
インターネットを使ったサービスの面では、「インターネットでの蔵書検索」(38.5%) や「インターネットでの資料の予約」(29.9%)、「電子書籍サービス」(27.4%) があげられ、全体の3~4割であった。インターネットからの蔵書検索よりも資料の予約が少ないことについては、自由回答の【運営について】にもあるが、事前に検索した上で来館し、貸出をしていることがうかがえる。

また、「点字資料の貸出」(18.0%)、「音訳資料の貸出」(14.2%)、「拡大読書器の利用」(11.3%) 等の障害者サービスについては、10%台であり、サービスとしての認知度が非常に低い。読書バリアフリーの観点から、障害の有無に関わらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるよう、図書館としてサービスの充実と案内が必要である。

3 図書館を利用した感想と満足度

(1) 図書館を利用した感想

Q 5 次のようなことをお感じになりましたか



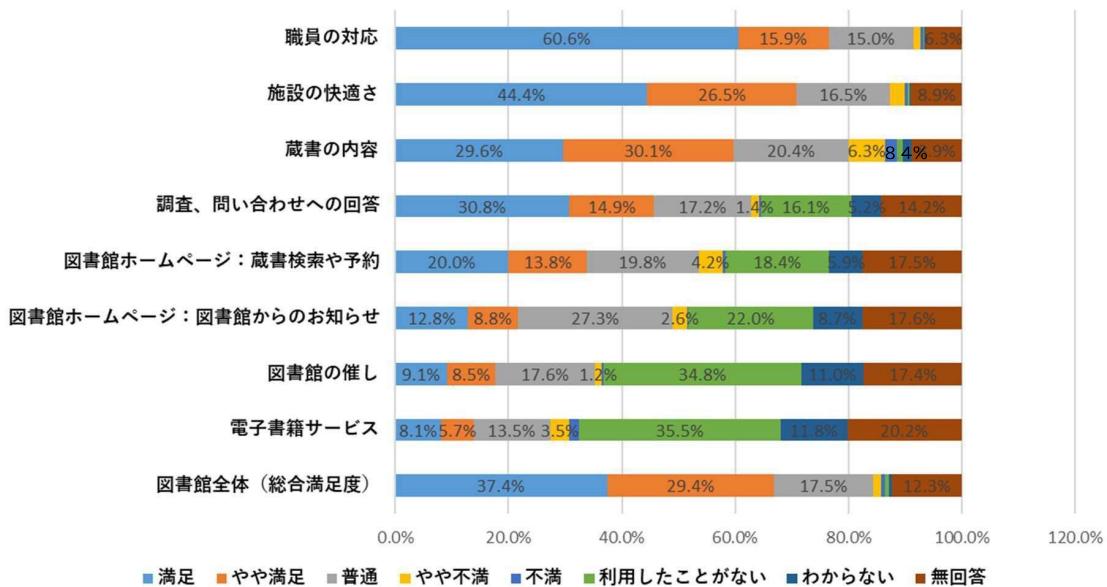
1年以内に図書館を利用した方 1,498 人に、図書館を利用した感想を尋ねた。

“よく感じる”または“時々感じる”と回答した方の割合を見ると、「面白い本に触れて充実した時間が過ごせた」と感じた方が 89% と最も多く、次いで「探していた情報や知識を得ることができた」(82.2%)、「満足感のある時間を過ごすことができた」(80.8%)、「思いがけない本や情報と出会えた」(75.3%)、「落ち着いて読書や調べ物をすることができた」(72.1%) で、7割以上であった。

一方、「本の探し方や、知識・情報の調べ方が分かった」、「仕事や資格取得の役に立った」について、“あまり感じない”または“まったく感じない”と回答した方が 4割以上であった。ビジネス関係資料の充実や館内での本の探し方、案内方法の改善が必要である。

(2) 図書館の利用満足度

Q 6 図書館の満足度についてお尋ねします



図書館全体についての総合満足度は、“満足”と“やや満足”を合わせて 66.8% であった。内容別に見ると、“満足”と“やや満足”を合わせた満足度は、「職員の対応」が 76.5% と最も高く、「施設の快適さ」が 70.9%、「蔵書の内容」が 59.7% と続いた。

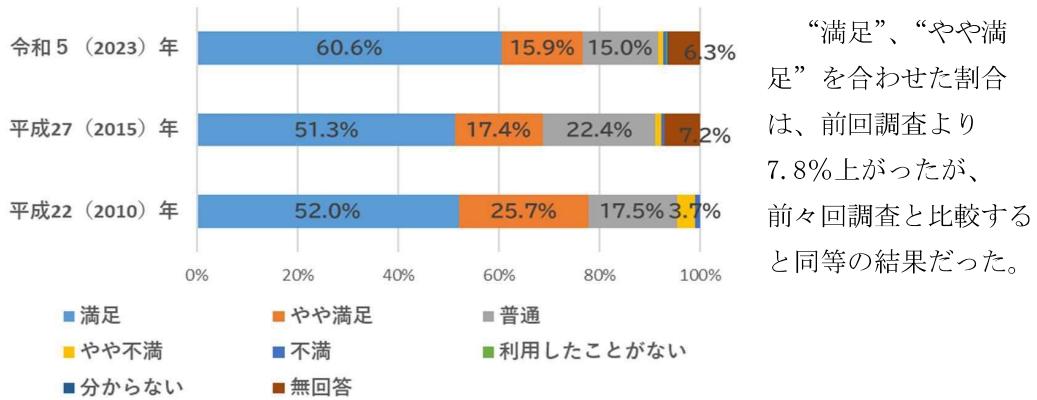
“満足”と“やや満足”以外を選択した方が多い項目についても、“やや不満”、“不満”と回答した方が 5% 以下程度となっている一方で、“利用したことがない”、“わからない”といった回答は多く見られる。「図書館の催し」については、“満足”、“やや満足”が 17.6% であるのに対し、“やや不満”、“不満”といった回答は 1.2%、“利用したことがない”、“わからない”といった回答が 45.8% であった。「電子書籍サービス」についても、“満足”と“やや満足”が 13.8% に対し、“やや不満”、“不満”といった回答は 3.5%、“利用したことがない”、“わからない”といった回答が 47.3% であった。これらのサービスについては、より一層のサービス周知が必要である。

Q 8 自由回答を参照すると、「図書館ホームページ」について、“みづらい”、“リニューアルしてほしい”といった回答があった。インターネットが普及する中で、今後、図書館ホームページの改善を検討したい。「図書館の催し」については、本に関する内容の枠に限らず、多様なジャンルでの企画や子ども向けイベントの要望があった。「電子書籍サービス」については、図書館に来館し、直接資料を手に取っての利用を希望しているため、棚にある蔵書の充実を望んでいることが推察される。

一方で、“やや不満”、“不満”が一番多かったのは、「蔵書の内容」で 8.4% であった。「蔵書の内容」について、新刊を中心とした蔵書の増加や蔵書管理の強化を望む意見があった。限られた予算の中で、より一層のニーズに沿った選書に努めたい。

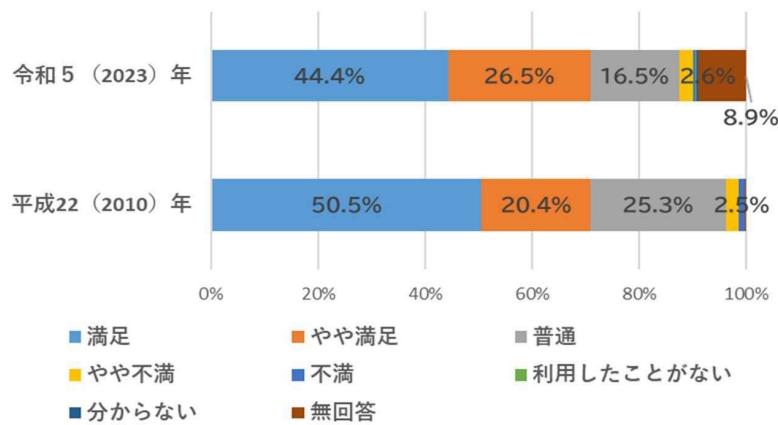
なお、「職員の対応」「施設の快適さ」「蔵書の内容」について、前回調査（H27年）および前々回調査（H22年）と比較したグラフは以下のとおりである。

ア 職員の対応



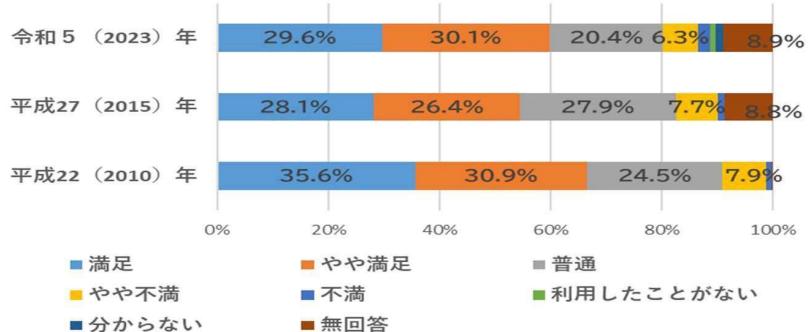
イ 施設の快適さ

施設の快適さは前々回調査と比較すると、同等である（前回は未調査）。



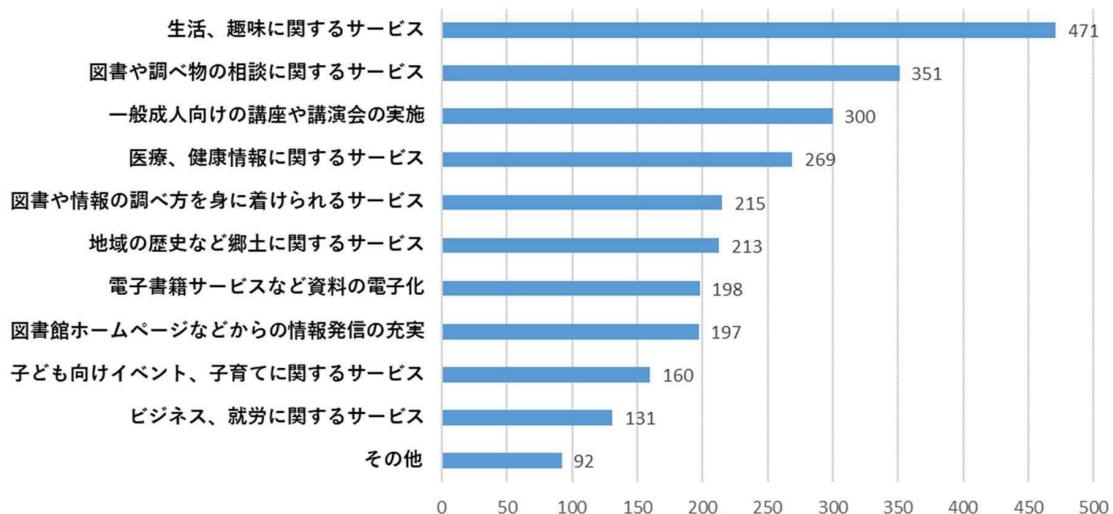
ウ 蔵書の内容

“満足”、“やや満足”を合わせた割合は、前回調査からは5.2%上がったが、前々回調査は66.5%であり、6.8%下がった結果となった。



4 今後充実して欲しい図書館サービス

Q 7 今後、図書館のどんなサービスを充実してほしいですか（3つまで）



“1年以内に図書館を利用した”と回答した方に尋ねた。（回答対象者数：1,498人）

「生活、趣味に関するサービス」と回答した方が最も多く、回答対象者の31.4%の方が回答した。次いで、「図書や調べ物の相談に関するサービス」（351人、回答対象者の23.4%）、「一般成人向けの講座や講演会の実施」（300人、回答対象者の20.0%）、「医療、健康情報に関するサービス」（269人、回答対象者の18.0%）が多かった。

「その他」の自由回答には、開館時間の延長（50件）、蔵書の充実（116件）、閲覧および自習席の拡充（27件）などが挙げられており、回答の内容はQ 8のとおりである。

5 図書館についての意見、要望

Q 8 図書館について、ご意見・ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。

ご意見、ご要望を自由に記載していただいたところ、503人から回答があった。

（1）1年以内に利用した方

Q 7の「その他」への自由回答と合わせた内容を、項目ごとに分類した。（複数記入有）

分類	意見数
蔵書について	155件
運営について（開館時間・貸出期間・規則等）	130件
施設について（座席、照明、空調等）	71件
サービスについて	67件
職員について	37件
マナーについて	8件
館内の配置、案内について	7件
その他（図書館全体についての感想等）	140件

【蔵書について】(155件)

- ・現在の蔵書に満足している／必要な資料は取り寄せてもらえるので助かっている
- ・蔵書をもっと増やしてほしい
- ・新刊／コミック／雑誌／大活字本／絵本／洋書を増やしてほしい
- ・視聴覚資料（CD、DVD）を増やしてほしい
- ・廃棄資料の無料配布の実施が嬉しい／やってほしい／配布一覧がほしい
- ・予約本を長く待たせないでほしい／取り置き期間を短くしてほしい／複数冊購入してほしい
- ・不衛生な本／汚れのある本があるので管理を強化してほしい

【運営について】(130件)

- ・開館時間を前倒しにしてほしい／9:00～または9:30～開館してほしい(15件)
- ・閉館時間を遅くしてほしい／毎日でなくて良いので閉館時間を延長してほしい
(19:00、19:30、20:00、21:00など) (24件)
- ・月曜日が祭日の時は開館してほしい／月曜日も隔週で開館してほしい (5件)
- ・貸出期間を長くしてほしい／2週間で読み切れない／2回延長させてほしい
- ・借りた資料の延滞を厳しく取り締まってほしい
- ・君津市外在住者も本のリクエストやCD／DVDの貸出をしてほしい (13件)
- ・児童の貸出窓口に誰もいない時があるので、いつもいてほしい (2件)
- ・ブックポストをいつでも使えるようにしてほしい
- ・カフェがあると嬉しい／休日に移動販売車などがあるとよい
- ・図書館利用券を電子化して欲しい (2件)
- ・図書館ホームページが見づらい／開館日がわかりづらい／リニューアルしてほしい／インターネットで蔵書検索ができ助かっている／インターネット蔵書検索が使いづらい／うまく検索できない／使い方がわからない／検索語が自動的に完全一致になってしまることがある／インターネット予約の際に「貸出不可」となっている理由が知りたい (25件)
- ・所蔵のない資料のリクエストをしたい／所蔵のない資料についてもインターネットで予約ができるようになり使いやすくなった
- ・分室の蔵書について定期的に入れ替えをしてほしい／分室にも本の相談ができる職員がいてほしい (5件)

【施設について】(71件)

- ・トイレをきれいにしてほしい／すべて洋式にしてほしい／扉がなく使いづらい少し怖い／数が少ない／1階のトイレが古い (13件)
- ・照明が暗い (8件)
- ・空調が寒い／暑い (4件)
- ・駐車場が混んでいる／満車になっていることが多い

- ・座席を増やしてほしい／学生の利用が多く、閲覧する席がないことがある（12件）
- ・自習室／学習スペースを増やしてほしい（12件）
- ・座席（特に2階の個人席）を予約制にしてほしい／使用時間を制限してほしい（4件）
- ・Wi-fi 利用ができる環境整備をしてほしい／ワーキングスペースがほしい（4件）
- ・視聴覚室の座席にてすりがほしい
- ・点字ブロックがグレーで見づらいので黄色にしてほしい（1件）
- ・館内に授乳室がなく、おむつ替え台も使いにくいので、簡易的なものでもよいのでベビールームがあるとよい（1件）

【サービスについて】（67件）

- ・借りた本を記録できるサービスをしてほしい（6件）
- ・子ども向けイベントを土日／固定した曜日以外にやってほしい（5件）
- ・読書会やクラフト系のワークショップなど、多様な企画をしてほしい／本の好みにあわせて図書館員が選書してくれるサービスがあれば利用したい（12件）
- ・おすすめの本コーナーが手に取りやすくてよい／面白い本に出会えることが多い／新着図書を紹介してほしい／コミックの新着図書を紹介してほしい
- ・ナクソスミュージックライブラリー（有料音楽配信）を入れてほしい（2件）

【職員について】（37件）

職員の対応について37件の回答があり、うち30件は「対応が適切で満足している」「丁寧で親切な対応である」等、好意的な回答であった。一方で、「不快な思いをしたことがある」「職員によって対応に差異がある」（7件）等の回答もあった。

【マナーについて】（8件）

「話し声が大きい」「新聞を一度に何紙も持っていく」「荷物を置いたまま長時間離席している」等、マナー違反を注意してもらいたいという意見があった。

【館内の配置、案内について】（7件）

- ・検索して示された場所がわかりにくい／検索した場所に行っても本が見つからない
- ・館内のどこに何があるのかサインが少なくわかりにくい

【図書館全体について】（140件）

「いつも快適に利用させてもらっています」「君津市の自慢といえる図書館だと思います」「気分転換や集中ができ、癒しの場です」「この図書館のおかげで、充実した毎日を過ごすことができます」等、図書館が利用者の暮らしの充実に役立っていることが感じられる声が多く寄せられた。

また、「図書館の予算や司書さんの人数などが今後も確保され、この図書館がずっと今

のようあり続けてくださるよう願っています」「目的の本を読むために君津に住みたいと思わせるような図書館を目指してほしいです。君津の人口増加のための一翼を図書館が担ってほしいです」「他市、他県の図書館の設備、サービスを参考にし、ぜひ利用したいと思われるような魅力的な図書館にして欲しい」等、今後の運営に期待を寄せる回答もあった。

(2) 2年以上前に利用した、または利用したことがない方

52件の回答があり、主な内容としては、運営に関する事（21件）、蔵書に関する事（7件）、施設に関する事（4件）、サービスに関する事（3件）についてとなつた。具体的には、開館時間の延長（6件）や、非来館での利用券登録（2件）、メールやLINE等での情報発信のほか、「図書館を気軽に利用できる交通手段がほしい」「分室の資料の入れ替えをしてほしい」（3件）という声があった。

6 アンケート結果（まとめ）

本アンケートは、同じ期間で中央図書館と各分室（6館）及び移動図書館のすべてで実施したが、各分室及び移動図書館については回答数が非常に少なく分析に至らなかつた。

また、図書館の満足度を尋ねる質問で、満足しているといった回答を得られなかつた際の理由についてうかがう問い合わせなかつた。図書館サービスの改善すべき内容を知る必要な項目であるため、次回アンケートの課題としたい。

図書館を利用した感想については、「面白い本に触れて充実した時間が過ごせた」（89%）「探していた情報や知識を得ることができた」（82.2%）等を、高い割合で感じたことがあるという回答が得られ（Q5）、総合満足度は66.8%という結果であった（Q6）。

自由記述（Q8）においても、蔵書について（155件）、運営について（128件）、施設について（71件）、サービスについて（68件）は多くの意見が寄せられている。

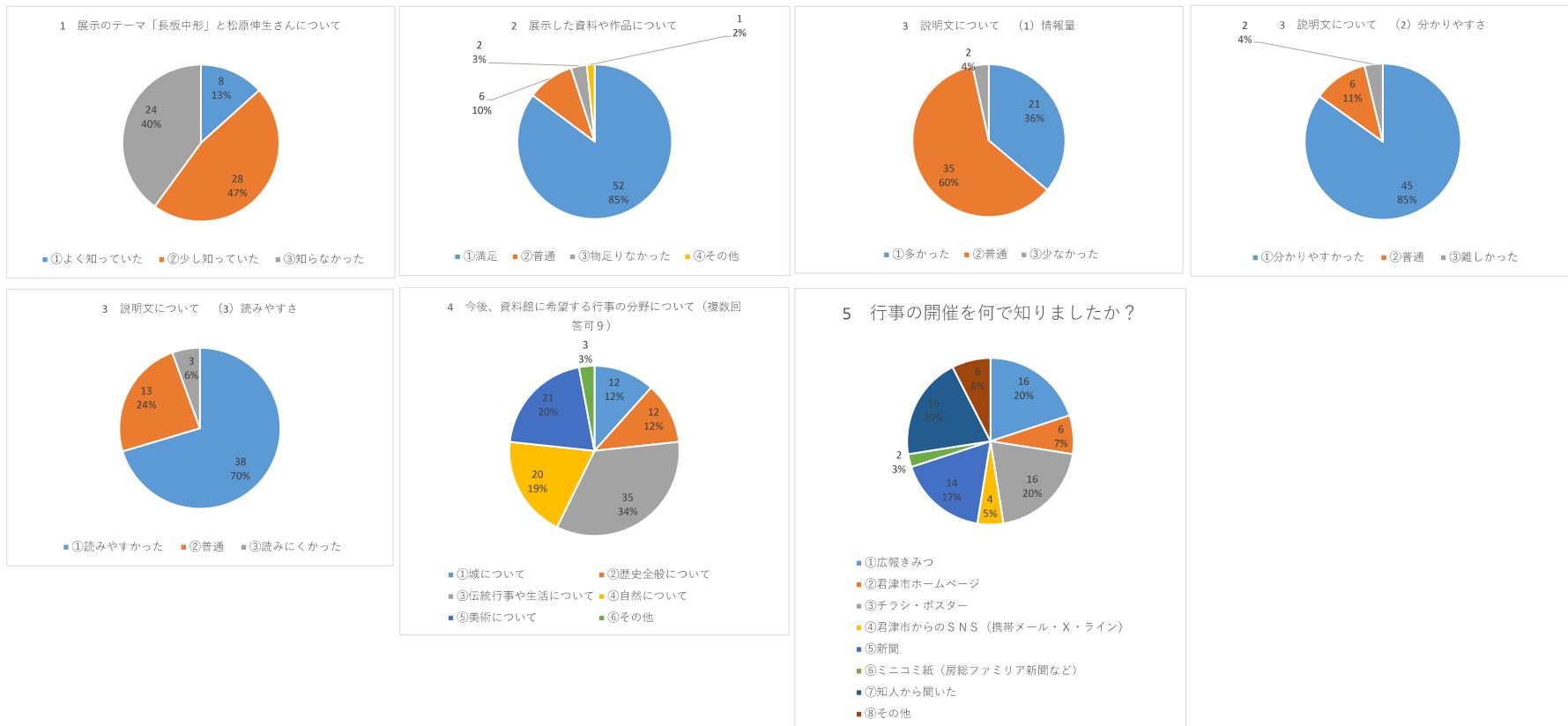
今回のアンケートでは、「図書館利用券を電子化してほしい」（2件）、「インターネット予約のサイト／「図書館ホームページをもっとわかりやすく使いやすくしてほしい」（25件）、「マイナンバーカードで図書館に行かなくても電子書籍を利用できるようにしてほしい」（2件）等の一層のデジタル推進を望む声があつた。

今後、新しい技術を取り入れながら、多様な市民ニーズにこたえられるよう、図書館のサービス拡充に努めたい。

別紙③

久留里城址資料館企画展 アンケート結果

	1	2	3			4	5	
			(1)		(2)			
			(3)					
	①よく知っていた ②少し知っていた ③知らなかった	①満足 ②普通 ③物足りなかった ④その他	①多かった ②普通 ③少なかった ④普通 ⑤やさしかった ⑥普通	①分かりやすかった ②普通 ③難しかった ④普通 ⑤くかかった ⑥普通	①読みやすかった ②普通 ③読みにくかった ④普通 ⑤くかかった ⑥普通	①城について ②歴史全般について ③伝統行事や生活について ④自然について ⑤美術について ⑥その他	①広報きみつ ②君津市ホームページ ③チラシ・ポスター ④君津市からのSNS（携帯メール・X・ライン） ⑤新聞 ⑥ミニコミ紙（房総ファミリア新聞など） ⑦知人から聞いた ⑧その他	
計	8 28 24	52 6 2	1 21 35	2 45 6	2 38 13	3 12 12	12 35 20 21	3 16 6 16 4 14 2 16 6



令和5年度市主催大会等一覧

	行事名	開催日	参加人数
1	グラウンド・ゴルフ大会	5月20日	74人
2	スポーツ・レクリエーション祭	6月25日	合計 11チーム 60人 ・ソフトバレー・ボール 女性の部 4チーム 24人 男女混合の部 3チーム 15人 ・インディアカ 女性の部 4チーム 21人 男女混合の部 出場なし
3	3×3バスケットボール大会	9月3日	12チーム57人
4	ウォーキングセミナー	9月27日	40人
5	ボールゲームフェスタ	11月12日	合計 122人 ・あそビバ 35組70人 ・キッズチャレンジ 52人
6	中学生野球教室	12月16日	5校 35人
7	ニューイヤーマラソン	1月13日	228人(市外36名)
8	なわとび大会	2月17日	154人(市外32名)
9	中学生サッカー教室	2月24日	6校 47人
延参加人数			817人

資料2

令和6年20歳のつどいについて

1. 実施状況について

実施日：令和6年1月7日（日）

対象者数：818名（住民基本台帳記載者及び電話申し込み者）

参加者数：532名

参加率：65%

【令和6年20歳のつどい参加状況】

会場	対象学区	対象者			参加者	参加率
		総数	住民票	電話申込者		
君津中央公民館	周西南中学校	135	125	10	87	64.4%
君津市民文化ホール (中ホール)	君津中学校	205	186	19	140	68.3%
君津市民文化ホール (中ホール)	八重原中学校	88	74	14	66	75.0%
周西公民館	周西中学校	145	136	9	54	37.2%
周南公民館	周南中学校	87	84	3	59	67.8%
小糸公民館	旧小糸中学校	65	59	6	58	89.2%
清和地域拠点複合施設	旧清和中学校	14	14	0	12	85.7%
小櫃公民館	旧小櫃中学校	41	37	4	29	70.7%
上総公民館	旧久留里中学校	18	18	0	12	66.7%
松丘コミュニティセンター	旧松丘中学校	12	11	1	9	75.0%
亀山コミュニティセンター	旧亀山中学校	8	8	0	6	75.0%

2. 学校統合による学区の変更に伴う今後の20歳のつどいについて

令和7年には周東中学校の卒業生が、令和8年には上総小櫃中学校の卒業生が20歳を迎えることから、事務局体制や実施会場等について検討する必要がある。

現在、小糸・清和地区公民館運営審議会及び小櫃・上総地区公民館運営審議会において、協議が進められている。

資料3

コミュニティ・スクールの進捗状況について

1 周西南中学校区コミュニティ・スクールの進捗状況について

(1) 学校運営協議会

- ・現在、4期目を迎える学校運営協議会は、13名の委員で活動している。
- ・委員は、主任児童委員、子ども会役員、社会福祉協議会会長兼生活支援コーディネーター、小・中学校PTA会長、周西小グリーンクラブ会長、小・中学校長、ロータリークラブ会長、スクールカウンセラーが務めている。
- ・学校運営協議会の運営は軌道に乗りつつあり、協議をきっかけに、地域住民による授業の支援や小・中学校間のボランティア連携も図られている。
- ・令和元年度の自然災害、コロナ禍の影響もあり、その活動が十分に保護者や地域に知れ渡っていないという課題もある。

(2) 地域学校協働本部

- ・学校運営協議会の話し合いを元に、地域学校協働活動を進めていく体制として、令和4年5月に「周西南中学校区地域学校協働本部」が設立され、学校支援、地域交流、広報の3部会体制で活動に取り組んでいる。
- ・学校支援部会は、学校の環境整備を中心に取り組んでおり、自治会、PTA等の関係者の輪を少しずつ広げながら取り組みを進めている。
- ・地域交流部会は、夏休み、冬休みに合わせ、子どもの居場所づくりに取り組んだほか、地域住民の学校への関心を高めるべく、「しゃべり場」などに取り組んでいる。
- ・広報部会では、「コミ・スクだより」の発行を通じて、コミュニティ・スクールの周知を図っている。令和5年度は3回（第2号から4号）発行している。

2 上総小櫃中学校区コミュニティ・スクールの進捗状況について

(1) コミュニティ・スクール推進委員会

- ・令和5年10月にコミュニティ・スクール推進委員会を立ち上げ、4回の会議を通じて、学校運営協議会の円滑な導入に向けて協議を行った。
- ・コミュニティ・スクール推進に向けた意見を次ページのとおりいただいた。（これまでの会議の状況については、別紙「コミュニティ・スクール推進委員会だより」のとおり）

(2) 今後のスケジュールについて

学校運営協議会

- ・令和6年4月 上総小櫃中学校区学校運営協議会 導入予定

上総小櫃中学校区コミュニティ・スクール推進委員会 第4回資料

上総小櫃中学校区コミュニティ・スクール推進に向けた意見要旨 「学校運営協議会で大切にしたい視点」

上総小櫃中学校区コミュニティ・スクール推進委員会での意見を「学校運営協議会で大切にしたい視点」としてキーワードで整理しました。

【学校運営協議会のあり方について】

- ・学校を知り、地域を知る、その話し合いを一つひとつ積み上げていく先に、様々な活動を見出していくこと。
- ・コミュニティ・スクールは、教職員、保護者、地域住民の「みんなが当事者」ということを意識した運営を心掛ける。
- ・子どものために活動したい人がたくさんいる中で、その気持ちを持っている人をどのように学校の授業などに結び付けていくのか、その仕組みづくりや調整の役割を担う方を少しづつ作っていくこと。

【学校運営協議会のスケジュールについて】

- ・学校行事や地域行事など、学校と地域の状況に沿って会議の日程を立てること。
- ・教職員、保護者、地域住民で「困ったことを正直に出し合える会」を目指して、必要に応じて、委員自由参加の「懇談会」などの開催も検討。
- ・学校評価を踏まえ、学校、家庭、地域が納得する「教育目標づくり」を進めるために、年度末の会議が特に重要になることに留意する。

【学校運営協議会委員の選出について】

- ・委員は充て職で選ぶわけではないので、必ずしも役にこだわる必要はない。
- ・委員として、学校にしっかりとつながりを持っている保護者の参加も重要。（ただし、「P T A会長」は1年任期で交代してしまうため、「P T A関係者」という立場から委員を選ぶ。）
- ・地区を基盤に委員を選ぶのか、地区にこだわらず人で選ぶのか、この先、活動が進んでいく中で、委員選出の方向性についても検討する。

【コミュニティ・スクールの周知について】

- ・保護者に向けた更なる制度周知を図るために、P T A総会や他の機会なども含めて制度周知の機会づくりに引き続き取り組む。（地域住民に向けた周知も重要）

1 目的・背景・基本方針

君津市では、公民館が各地区の学習・交流等の場として、様々な地域活動の舞台になってきました。しかし、建築から半世紀近くが経過し、建物の老朽化や多様化するニーズへの対応等が課題になってきています。

本事業では、市内8地区・8館ある公民館のうち周南地区・小糸地区・小櫃地区的3地区を対象として、公民館等公共施設が将来にわたって地域の核として機能するよう、再整備を行うものです。



(1) 現状の課題

施設の老朽化	3 公民館は建設から50年程度が経過し、施設の老朽化が進んでおり、公共施設として再整備の検討時期を TTC に迎えています。
地域における社会教育の振興とコミュニティの維持	公民館がこれからも各地域の活動拠点として機能していくためには、多世代の多様なニーズに対応した、柔軟な利活用が可能な施設整備が必要です。
自然災害への対応	頻発・激甚化する自然災害に対して、地域の避難場所としての防災機能の強化が求められています。
地区の公共施設再編と拠点形成の必要性 (小糸地区・小櫃地区)	小糸地区・小櫃地区においては、公民館以外の公共施設も老朽化が進んでおり、公民館の再整備と合わせて地区内の公共施設の再編（複合化・集約化）を検討するとともに、地区的拠点形成を図っていく必要があります。

(2) 公民館等再整備の基本方針(各地区共通)

【基本理念】“人と地域をつなぐステーション”としての公民館・拠点施設

公共施設としての基本性能を充足した施設整備	誰もが安心・安全・快適に利用でき、安定的な行政サービスを提供し続けられる施設となるよう、バリアフリー等の公共施設としての基本性能の充足や、DX等の技術を活用した行政サービスの質の向上を図ります。また、将来的な施設管理コスト削減のため、既存施設の複合化や現存する公共用地を活用した整備に努めます。
柔軟な利活用が可能な施設整備	シンプルで実用性の高い施設を基本としつつ、多世代の多様なニーズに対応できる機能を効率的に再整備します。施設内レイアウトの検討に当たっては、フレキシブルな利用が可能な機能を固定しないエリアの配置や運用方法についても検討します。
防災拠点機能の強化	地区の避難場所として、耐震性の確保された建物に再整備します。また、インフラ途絶時でも機能する防災拠点とするために、発電機・蓄電器の導入や、避難場所として充分なスペースの確保等を検討します。
公民館等再整備を契機とした地区の拠点形成 (小糸地区・小櫃地区)	生涯学習施設として多世代に利用される公民館を軸に、地区の公共施設の再編（複合化・集約化）を図り、多様な目的で訪れる人々が会うことにより新たな活動や交流が生まれる、地域の“人”と共に成長する拠点づくりを進めます。

2 施設の再整備の考え方

① シンプルで、実用性の高い施設

- 他用途への転用が可能なS.I.（スケルトンインフィル）の考え方のもと、シンプルな施設構成としつつ多様な社会教育、文化、スポーツ・レクリエーション活動を受け容れる造りとします。
- 日常メンテナンスや施設内レイアウトの変更の容易性など実用性を重視することとします。

② 誰もが利用しやすい施設

- バリアフリーやユニバーサルデザインなどを考慮した施設の造りとし、誰もが使いやすい施設とします。
- ホール等のようなフリースペース的空間を設け、誰もが気軽に立ち寄れて、用事がなくとも憩い・くつろげる環境を整備し、にぎわいや交流を生む拠点的施設とします。

③ 地球環境に優しい施設

- 君津市の「環境グリーン都市」実現に向け、「第5次君津市地球温暖化対策実行計画」の施策に従って、主に以下の事項に取り組みながら再整備を行うものとします。
- ライフサイクルコストの低減につなげるべく、再整備後の運営維持管理を考慮したエネルギー利用等の最適化を図るものとします。

施策	取組 ★：重要取組
(1)省エネルギーの推進	省エネルギー機器等の導入推進★（例：LED照明の導入など） 省エネルギー建築の推進
(2)再生可能エネルギー利用の推進	市有施設・遊休地における再生可能エネルギー設備等の導入推進★ (例：太陽光発電設備の設置など) 低炭素電力の利用推進
(5)吸収源対策の推進	森林資源の活用
(7)デジタル技術の活用による脱炭素化の推進	DXの推進

3 民間活力の導入

公民館等の再整備においては、民間活力により効率的・効果的な整備を進めるとともに、地域のポテンシャルを活かしたにぎわい・魅力づくりを官民連携で検討していきます。令和5年8月～9月に民間事業者等を対象としたサウンディング調査を実施しました。調査結果から、公民館等再整備における民間活力の導入方針を以下の通りとします。

■ 民間活力導入の基本方針

- 公民館等再整備事業を包括して発注（バンドリング）するなど、事業者の参入意欲向上や行政コストの縮減等につなげます。
- 地域の利便性向上に資する事業を施設内または敷地内に導入することを検討します。

※施設の整備～運営維持管理において民間活力の導入を想定しますが、公民館事業についてはこれまで通り君津市の直営により運営するものとします。

4 事業スケジュール(予定)



周南公民館の再整備方針

現状の課題等

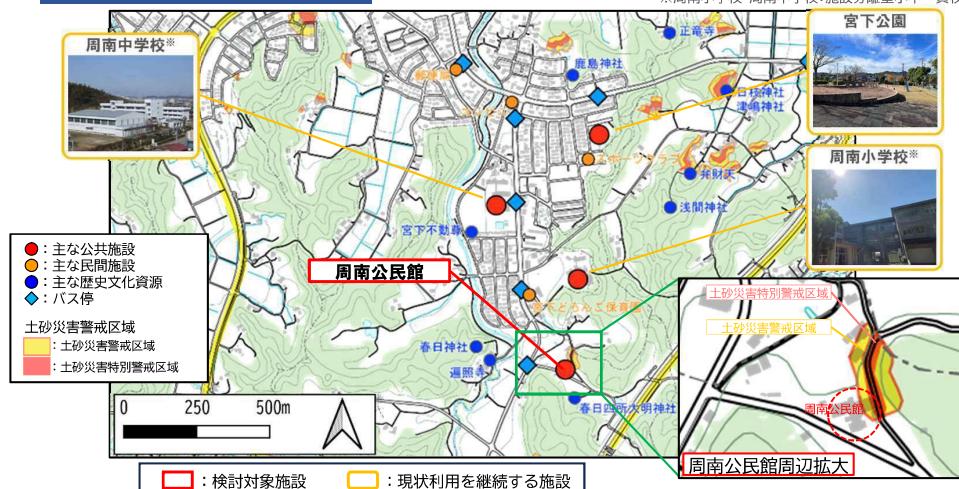
【主な地区特性】

- 市内外からのアクセス性が良く、利便性の高い立地（君津IC、市道八重原線）
- 住宅地と豊かな自然の農山地を併せ持つ
- 生産年齢人口の割合が比較的高い
- 地域ぐるみの青少年健全育成活動、コミュニティ活動が盛ん
- 公民館で続けられてきた「ふるさと運動」は周南小・中学校でも活用され、地域と学校を深く結ぶ役割も担う

【現況の課題】

- 災害上リスクのある場所（敷地の一部が土砂災害特別警戒区域にかかる）
- 公民館利用者層の固定化
- バリアフリー一部未対応

地区の現況・検討対象施設



市民意見

【アンケート】

- *再整備に期待すること等として多かった回答
 - 災害対応機能の充実
 - 誰もが使いやすい施設
 - 用事がなくても憩い・くつろげる環境
 - 子どもが楽しめる場所（新たに越してきたファミリー層向け施設やイベント等）
 - 明るい・きれいな施設
 - スポーツ施設の整備（テニスコート、屋内スポーツ等）

【ワークショップ】

- 常に開かれている場所⇒いつも誰かが居る場所
- 地域活動の記録展示や周南地区内の交流の場（地域のことを知る機会を増やす）
- 子どもから高齢者までふらっと気軽に寄れる施設
- 新しいレクリエーションの機会の創設の場
- 地域のハブ機能
- 小中学校と公民館との連携強化
- 周南地区の中心部、小中学校の近くなど、わかりやすく行きやすい場所に立地

再整備のコンセプト

地域を知り・学び・つながる公民館 周南の人・自然・歴史文化を地域の手で守り育てる場所

- バリアフリー対応と子どもから高齢者まで誰もが使いやすい、様々な活動を受け容れる施設のつくり
- 昔から住む人も、新たに住み始める人も一緒にになって地域を知り・創る場所
- 中学校敷地内への移転により、災害リスクを軽減し、小学校・中学校との更なる連携及び利用者層の拡大を図る

立地

現状、周南公民館の敷地の一部が土砂災害特別警戒区域にかかることや、敷地の広さを勘案し、周南中学校敷地内への移転を基本とすることで、多世代の方が使いやすくすることや小中学校との連携強化を図る。

導入予定機能・規模イメージ

機能分類	主な諸室	規模	整備の考え方
公民館機能	講堂	160m ² 程度	<ul style="list-style-type: none"> 集会や講演会等の利用として地域住民が集まる充分なスペースの確保 卓球等の屋内スポーツができる構造 発災時の避難場所として安心して過ごしやすい空間
	会議室1（研修室）	80m ² 程度	<ul style="list-style-type: none"> 40人程度の利用を想定 会議室のほかダンス等の多用途に使用できるつくりとする
	会議室2（兼和室）	70m ² 程度	<ul style="list-style-type: none"> 30人程度の利用を想定 畳表を敷くことで和室としての機能も持たせる 2分割し、片側の部屋には茶室の機能を持たせる
	会議室3（兼調理実習室）	55m ² 程度	<ul style="list-style-type: none"> 20人程度の利用を想定 調理台に天板を置き会議室としての利用もできるつくりとする 災害時の活用も想定したつくりとする
図書館機能	図書コーナー※ロビーに併設	—	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館分室（図書サービスコーナー）として1,500冊程度の蔵書
交流機能	ロビー	150m ² 程度	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが立寄り・集いやすい雰囲気
管理・衛生等	事務室	30m ² 程度	<ul style="list-style-type: none"> 公民館利用の受付と図書室の貸出・予約ができるつくり
	倉庫	40m ² 程度	<ul style="list-style-type: none"> 備品、書類・資料等の保管用
	トイレ	50m ² 程度	<ul style="list-style-type: none"> おむつ交換台や授乳室等、子育て世代が利用しやすい施設設備の検討
災害拠点機能	防災倉庫	—	<ul style="list-style-type: none"> 講堂から利用しやすい位置に配置する（屋外に設置）
その他	駐車場	—	<ul style="list-style-type: none"> 40台程度。移動図書館の駐停車場所や、地区文化祭等のイベント利用も想定 雨天時に送迎利用者や図書（中央図書館より搬入出）が濡れないよう、ポーチに面する位置に配置する

小糸公民館等の再整備方針〈小糸地区の拠点施設整備〉

現状の課題等

【主な地区特性】

- 市の中央部に位置し、市街地と山間地の中間として、豊かな自然と住宅地がバランスよく存在
- 様々な地域活動団体の活動が活発に行われ、小糸公民館がその支援や拠点となっている
- 公民館にはプレイルームがあり、地域の子育て支援の機能も担っている

【現況の課題】

- 公民館利用者層の固定化
- バリアフリー一部未対応
- 公民館一帯の施設や事業の認知度が低い

地区の現況・検討対象施設



市民意見

【アンケート】

- *再整備に期待すること等として多かった回答
- 用事がなくとも憩い・くつろげる環境
 - 余暇や趣味、スポーツを楽しめる場
 - カフェ等の飲食店（おしゃれなカフェ、レストランがあり1日中過ごせる施設等）
 - 多世代が利用できる場所（年齢問わず市民の憩いの場、子どもだけでなく大人も楽しめる等）
 - 災害対策・防災拠点

【ワークショップ】

- バリアフリーとアクセシビリティの確保
- 子どもが集う場所（放課後に使える、親子で気軽に立ち寄れる、安心して遊べる等）
- 図書館、スポーツ、学びの支援機能等の充実
- 学びの場、地域の歴史、サークル活動
- 日常生活に対応した、立寄りたくなる施設
- 安心して過ごせる場所、生涯暮らしたい地域
- 子ども・高齢者まで参加できる交流の機会
- 保育園、学童がつながる

再整備のコンセプト

子どもから高齢者まで多世代が いきいきと活動し・暮らしつづける 地域創造拠点

- バリアフリー対応とし誰もが気軽に立ち寄れる、日常に根差した場所づくりによる幅広い交流が生まれる拠点の形成
- 公民館～生きがい支援センターの一団の市有地を活かした拠点エリアの一角の形成
- 保育機能の配置により子どもや子育て世代との事業連携による利用者層拡大

立地

現在の小糸公民館の立地を基本とし、隣接する公有地も含めた一帯の敷地を活用した拠点施設の整備を図る。

導入予定機能・規模イメージ

	機能分類	主な諸室	規模	整備の考え方
施設①	公民館機能 (生涯学習機能、集会機能等)	講堂	260m ² 程度	・集会や講演会等の利用として地域住民が集まる充分なスペースの確保 ・卓球等の屋内スポーツができる造り ・発災時の避難場所として安心して過ごしやすい空間
	会議室1 (研修室)		80m ² 程度	・40人程度の利用を想定 ・会議室のほかダンス等の多用途に使用できるつくりとする
	会議室2 (兼和室)		70m ² 程度	・30人程度の利用を想定 ・畳表を敷くことで和室としての機能も持たせる ・2分割し、片側の部屋には茶室の機能を持たせる
	会議室3 (兼調理実習室)		55m ² 程度	・20人程度の利用を想定 ・調理台に天板を置き会議室としての利用もできるつくりとする ・災害時の活用も想定したつくりとする
	会議室4 (兼工芸室)		40m ² 程度	・陶芸だけでなく、工作もできる工芸室
	子育て支援機能 プレイルーム		70m ² 程度	・子どもが安心して遊び、親世代の交流場所にもなる部屋づくり（現況機能の継承）
	図書館機能 図書室		40m ² 程度	・中央図書館分室として10,000冊程度の蔵書
	行政窓口機能 市民センター (兼公民館事務室)		70m ² 程度	・出張所機能を継承。事務室は公民館と兼用
	交流機能 ロビー		100m ² 程度	・誰もが立寄り・集いやすい雰囲気
	管理・衛生等 倉庫		40m ² 程度	・備品、書類・資料等の保管用
施設②	トイレ		50m ² 程度	・おむつ交換台や授乳室等、子育て世代が利用しやすい施設設備の検討
	災害拠点機能 防災倉庫			・講堂から利用しやすい配置（屋外に設置）
	その他 駐車場			・60台程度。移動図書館の駐停車場所や、地区文化祭等のイベント利用も想定 ・雨天時に送迎利用者や図書（中央図書館より搬入出）が濡れないよう、ポーチに面する位置に配置する
	壁画			・既存のモザイクタイル壁画の保全については、様々な視点から検討を進める
施設②	保育機能 (児童福祉)	保育園		・中保育園・小糸保育園を統合し定員90人程度の保育所として整備 ・セキュリティの観点から建物や園庭は拠点施設とは分離・別棟として整備 ※民営化（敷地外整備も含む）も選択肢として検討する

小櫃公民館等の再整備方針〈小櫃地区の拠点施設整備〉

現状の課題等

【主な地区特性】

- ・豊かな自然と農地を擁する地域の魅力の要所
- ・木更津東ICや国道410号の整備で交通利便性が高まりつつあり、人・モノの新たな交流を生み出す可能性に恵まれた地
- ・子どもたちを地域ぐるみで育む活動や伝統文化活動が盛ん

【現況の課題】

- ・公民館利用者層の固定化
- ・バリアフリー一部未対応
- ・地区に子どもが安心して遊べる場所が少ない



市民意見

【アンケート】

- *再整備に期待すること等として多かった回答
 - ・用事がなくても憩い・くつろげる環境
 - ・余暇や趣味、スポーツを楽しめる場
 - ・利便性の向上
 - ・子どもが楽しめる場所（安心して遊べる公園、子育て世代が気軽に集える場等）
 - ・スポーツ施設の整備
 - ・カフェ等の飲食店（地場産品を利用したメニュー、誰でも気軽に出入りできるカフェラウンジや子ども食堂等）

【ワークショップ】

- ・子どもの居場所、遊び場としての施設（学童とは別の安心できる場所）
- ・新しい住民も昔からの住民も集い・交流できる場
- ・コミュニティの活性化
- ・防災や福祉など様々な地域活動の拠点
- ・図書室や学習機能の充実
- ・バリアフリー化され、人に優しい施設
- ・地域の利便性を高める
- ・駐車場の拡張
- ・診療所は今の場所がよい（薬局等から近い）

再整備のコンセプト

豊かなコミュニティのもと 安心して住み続けられるまちを創る拠点

- バリアフリー対応とし子どもから高齢者まで誰もが使いやすい、様々な活動を受け容れる施設のつくり
- 地域の“憩いの場”として気軽に立ち寄り、集える空間づくりによる、昔からの住民と新しい住民の交流促進
- 診療所の併設による保健衛生・健康づくり機能の強化

立地

現在の小櫃公民館の立地を基本とし、周辺施設の機能を効率的に配置することにより拠点施設の整備を図る。

導入予定機能・規模イメージ

	機能分類	主な諸室	規模	整備の考え方
施設①	公民館機能（生涯学習機能、集会機能等）	講堂	260㎡程度	<ul style="list-style-type: none"> ・集会や講演会等の利用として地域住民が集える充分なスペースの確保 ・卓球等の屋内スポーツができる造り ・発災時の避難場所として安心して過ごしやすい空間
		会議室1（研修室）	80㎡程度	<ul style="list-style-type: none"> ・40人程度の利用を想定 ・会議室のほかダンス等の多用途に使用できるつくりとする
		会議室2（兼和室）	70㎡程度	<ul style="list-style-type: none"> ・30人程度の利用を想定 ・畳表を敷くことで和室としての機能も持たせる ・2分割し、片側の部屋には茶室の機能を持たせる
		会議室3（兼調理実習室）	55㎡程度	<ul style="list-style-type: none"> ・20人程度の利用を想定 ・調理台に天板を置き会議室としての利用もできるつくりとする ・災害時の活用も想定したつくりとする
	図書館機能	図書コーナー※ロビーに併設	—	・中央図書館分室（図書サービスコーナー）として1,500冊程度の蔵書
	行政窓口機能	市民センター（兼公民館事務室）	70㎡程度	・出張所機能を継承。事務室は公民館と兼用
	交流機能	ロビー	200㎡程度	・誰もが立寄り・集いやすい雰囲気
施設②	管理・衛生等	倉庫	40㎡程度	・備品、書類・資料等の保管用
		トイレ	50㎡程度	・おむつ交換台や授乳室等、子育て世代が利用しやすい施設設備の検討
	災害拠点機能	防災倉庫	—	・講堂から利用しやすい配置（屋外に設置）
	その他	駐車場	—	<ul style="list-style-type: none"> ・60台程度。移動図書館の駐停車場所や、地区文化祭等のイベント利用も想定 ・雨天時に送迎利用者や図書（中央図書館より搬入出）が濡れないよう、ポーチに面する位置に配置する
		S L展示	—	・安全面等を考慮し、地元の管理団体と協議しながら検討を進める
	診療所機能（医療・保健）	小櫃診療所	330㎡程度	・拠点施設への複合化、併設を検討する。ただし、導入可能性調査により、より有利な提案があれば単独整備も検討する。

資料5

君社教連第50号

令和6年2月13日

君津市長様

君津地方社会教育委員連絡協議会

会長 田中雪夫



令和5年度君津地方社会教育推進大会における決議文の決議について（通知）

向春の候、貴職におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素より君津地方の社会教育活動及び当協議会の活動について、多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件について、令和6年1月28日に開催した令和5年度君津地方社会教育推進大会において、別紙における4つの事項の実現を目指し、大会決議文を大会参加者の総意をもって決議いたしました。

つきましては、厳しい財政状況とは存じますが、これらの課題の重要性と緊急性をご理解いただき、社会教育・生涯学習の推進及び振興に一層のご尽力を賜りますようお願いいたします。

【連絡先】

君津地方社会教育委員連絡協議会事務局

（袖ヶ浦市教育委員会 生涯学習課内）

担当：柳井

電話：0438-62-3743（直通）

大会決議文

私たち社会教育・生涯学習関係者は、誰もが生きがいを持って暮らせる安全で住みよい地域づくりや青少年の健やかな成長をめざし、様々な地域の行事や活動に積極的に参加し、よりよい社会の構築に努めてまいりました。

コロナ禍が一応の終息を迎えたいま、社会教育がこれまで果たしてきた「人づくり・つながりづくり・地域づくり」を通じて、格差、分断、孤立など、コロナ禍に顕在化した課題の解決に向けた社会的包摶の実現や持続可能な地域コミュニティづくりが求められています。

このような中、生涯学習、社会教育活動において、誰もがウェルビーイング(Well-being)を実感しながら「つながり」を再構築していくことが、ポストコロナ期における新たな社会教育の役割といえるのではないでしょうか。

本日ここに、第58回君津地方社会教育推進大会を開催いたしました。

社会教育・生涯学習は、個人の成長と地域社会の発展の双方に重要な意義と役割を持つものであり、その要となるのが、学びの場を通じた住民相互のつながりです。私たち一人ひとりが主体となって、いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができ、その成果を活かすことのできる社会を一層発展させることは、君津地方4市市民の大きな願いです。

社会や地域の課題解決に向け、人々の交流と学びを軸に様々な活動を展開する社会教育活動を通じて、豊かで実りある地域社会を築くことを強く願い、ここに集うすべての組織・団体・人々が知恵と創意を結集させ、次の事項の実現をめざします。

- 一、誰もが生きがいを持ち、つながりを実感できる社会づくりの推進
- 一、高度化・多様化するニーズに一層対応した社会教育・生涯学習活動の展開
- 一、社会教育・生涯学習の機会を充実させ、支援できる体制の確立
- 一、社会教育・生涯学習関係者の研修機会の充実

なお、各市におかれましては、これらの課題の重要性と緊急性をご理解いただき、厳しい財政状況とは存じますが、社会教育・生涯学習の推進及び振興に一層のご尽力を賜りますよう強く要望いたします。

以上、大会参加者の総意をもって決議いたします。

令和6年1月28日

第58回君津地方社会教育推進大会

第58回君津地方社会教育推進大会開催要項

1 趣旨

これまで社会教育は、社会情勢のめまぐるしい変化の中で、誰もが生きがいを持って暮らすことのできる安全で住み良い地域社会づくりや、青少年の健やかな成長に役立つ様々な取り組みを展開してきました。

ポストコロナ期において、地域コミュニティを再構築していくためにも、人と人のつながり、地域のつながりを再認識し一人一人の多様な幸せ、ウェルビーイング（Well-being）を実現しながら地域を活性化していくことが、社会教育の役割といえるのではないでしょうか。

そこで、社会教育の推進と、誰もが生涯に渡って学ぶことのできる社会の発展をめざし君津地方4市の社会教育・生涯学習関係者、学校教育関係者などの皆さんのが集い交流を深め、社会教育への理解をより一層深めるべく、本大会を開催いたします。

大会テーマ 学び つながる 社会教育

2 主催 君津地方社会教育委員連絡協議会

3 共催 日本製鉄株式会社 東日本製鉄所 君津地区

4 後援 君津地方4市教育委員会

5 期日 令和6年1月28日（日）午後1時30分～4時10分

6 会場 日本製鉄株式会社 東日本製鉄所 君津地区
(本館コミュニケーションホール) (木更津市築地1-1)

7 日程 13:00～13:30 受付
13:30～14:00 開会行事 主催者あいさつ・表彰状贈呈・来賓祝辞
14:05～14:25 クローバー賞（日本製鉄君津社会貢献賞）表彰式
14:35～16:00 記念講演会

演題「動き出そう！これからの時代の社会教育へ
～ポストコロナのつながりと学び合いのデザイン～」

講師 丹間 康仁 氏（千葉大学教育学部 准教授）

16:00～16:10 閉会行事